大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

夕刊 九月八日

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓五拾錢（郵税一ケ月拾五錢）
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)二二〇五 營業局專用(3)三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

ポーランド兵の捕虜數二萬五千人

大砲百廿六門、鹵獲品多數

ドイツ軍の戰果

【ベルリン七日發國通】ドイツ國防軍最高司令部は獨波開戰以來六日までのドイツ軍のポーランド作戰々果を七日左の如く發表した

一、ポーランド兵捕虜數二萬五千　一、大砲百二十六門　一、裝甲車多數　一、機關銃、小銃及び對戰車砲無數

ポーランド軍の退路を遮斷

【ベルリン七日發國通】ドイツ空軍は七日ワルソー攻擊部隊の作戰に協力ポーランド軍の退路を斷つべくヴイスツラ河の架橋に猛爆を加へこれを破壞した、かくてポーランド軍の退却は著しく困難を加へるに至つた

快速戰車隊を先頭に

獨軍ワルソー卅四キロに迫る

【ベルリン七日發國通】ワルソー攻略のドイツ軍は快速戰車隊を先頭に一路ムラワ、ワルソー街道に沿ひ首都ワルソーを目指して猛進中であるが、ドイツ軍最高司令部は七日ドイツがワルソーの北方約卅四キロの地點に到達したと發表した

ウエステルプラッテ警備軍降服

【ベルリン七日發國通】ドイツ國防省は七日ダンチッヒのウエステルプラッテ警備のポーランド軍が七日午前九時廿分降服し、こゝに同所の完全占領成つた旨發表した、因にウエステルプラッテ警備のポーランド軍は一日獨波開戰以來寡兵よく海空陸三方面よりするドイツ軍の猛攻に對抗、幾度か占領を傳へられたが今までよく孤壘を死守してゐたもので、ポーランド軍の華と謳はれ、ドイツ國防省も特に發表に當り警備軍の勇敢さを稱讚してゐる

獨軍シレジア地方占領

【ベルリン六日發國通】ドイツ軍は六日すでにポーランド領深く進入し、その南方部隊は東部上シレジアを完全に席卷し、首都ワルソーを西南方より衝かんとするの態勢を示しつゝあるが、右ドイツ軍の上部シレジア東部地區の完全占領はポーランド側の抗戰繼續に重大なる支障を與へ、今後の戰局に相當な影響を及ぼすものとして各方面から注目されてゐる、ドイツ側では右に關して左の如き觀測を下してゐる

カトビッツ・ケーニヒスヒユッテ、ミスロビッツ、ソスノビッツ、ダブロバ及ベンドジーン等を含む東部上シレジア工業地帶の占領はポーランドにとつて實質的にその全重工業を喪失したと同一の意義を持つものであるかくてポーランド武器工業は最早同地方よりの半製原料の供給を仰ぐことが不可能となつたわけである結局之はポーランドが大砲、小銃、裝鋼鐵板等の鋼鐵資源其の他飛行機エンジン、裝甲車、機關車、貨車等の生產全滅を意味するものであるのみならず今回占領された地域内にはポーランド炭抗の九十五パーセントが存在しその上十ケ所に及ぶ亜鉛、鉛などの鑛山喪失によつてポーランドは同鑛山の大半を失ふに至つたわけで以てその意義の重大性を計るべきであらう

新鋭部隊をジーグフリード線に增援

【パリ七日發國通】フランス軍最高司令部は七日午後九時十五分コンミユニケを發表しジーグフリード線のドイツ兵が盛んに增强されつゝある旨左の如く發表した

ライン河及びモーゼル河間の敵軍は目下頻りに增强しつゝあり、偵察部隊の報告に依れば新鋭部隊が後方より續々到着しつゝあるもの如し

植田大使の辭任

張國務總理談

植田全權大使の辭任、梅津新大使の就任につき張國務總理は左の如き談話をなした

□

植田全權大使は康德三年春以來その任に在られ歷代の大使の中でも特に長き年月滿洲國に駐在せられたが、滿洲國はその間恰も建設の巨歩着々として進捗し、大滿洲國の基礎を確立せる時期であり、内には產業五ケ年計畫の樹立をはじめ各般にわたつて大事業の達成あり、外は各國の滿洲國承認續出と相俟つて國威を全世界に發揚した最も重要なる時期であつた、この間にあつて植田全權大使の蔭となり日向となつての滿洲國支援こそはこの大滿洲國完成の最大の要素であつたことを確信してやまず、またこの間日滿間の外交關係においても治外法權の撤廢附屬地行政權移讓の大事その他幾多の重要事態の措置あり、これ等についての植田大使の政策大綱に關する達見圓滑なる事務の處理は日滿一德一心を顯せるもので深く感謝に堪へざると共に今大使を失ふことは痛惜措く能はざる次第である

しかしながら後任梅津大使は陸軍首腦部にあられ非常時日本の重要政務に從事してをられた有偈の人材と聞くまた最近は支那方面にあつて新生支那の眞の姿を觀察せられた現下歐洲方面における動亂の擴大を他所に着々として新東亞の建設に邁進する日滿兩國にとつては支那事變の急速解決こそ刻下の喫緊事であり、これに關して日滿の協力益々緊密を要するの秋、氏の如き大使を得たことは欣快この上なき次第である

星野長官語る

植田全權大使の辭任、梅津大使の就任に關し星野總務長官は左の如き談話をなした

植田全權大使は在任三ケ年半の長きにわたりその間滿洲國は内政方面においては滿五ケ年計畫の樹立、開拓、北邊振興工作の進捗等滿洲國建設の大事業の基礎を固めた時期であり、大使の指導は四千萬國民の民生の安定、民心の指導に最大の力となり今日の民生の向上、教育、更生の諸施設は大使のかくれたる指導に負ふところ大なるものありと云ふべきである、この間外交方面においても治外法權の撤廢、附屬地行政權の移讓等のことあり、大使の在任によつてそれらの處理は圓滑に進捗した、今かゝる名大使を失ふことは非常な寂しさを感ずる次第である、しかしながら事こゝに至つては大使の教訓と指導の趣旨を固く持して今後の建設事業に邁進せんとする次第である、梅津新大使は多年軍の中央部に居られ、最近は支那方面において三軍を叱咤して居られた人で滿洲には深い理解を持たれる才德兼備の人物であり、この人を迎へることは滿洲國にとつて非常なる名譽である

熟慮斷行の人

新任大使梅津中將

新駐滿大使梅津美治郎中將は本年五十八歳大分縣の出身で陸士第十五期の步兵科出身、陸大を首席で通した秀才であり、同期には多田駿、中島今朝吾、谷壽夫各中將がある、中將が一般の人々に强く印象づけられたのは、支那駐屯軍司令官時代の昭和十年六月第一次北支事件に際し所謂「梅津・何應欽協定」を締結した時である事は尙世人の記憶に新たなる所である、中將は明晰な頭腦とどこまでもつきつめて行く眞面目さによつて軍制各般に亘つて通曉し、その事務的才能に於ては陸軍隨一と言はれてゐる、寺内、杉山兩相に次官として仕へたが、寺内、梅津のコンビは二・二六事件後の陸軍の肅軍人事を斷行して軍の再建を圖り、杉山陸相を補けては國防關係の國家總動員法、電力國家管理法等の重要法案の議會成立に優れたる事務的手腕を揮つた中將の事務的肌合は「石橋叩いて渡らぬ男」とさへ評されてゐる通り物事を常に冷靜に判斷しその判斷に基づいて周到なる準備をする、政策の實行といふことについては「石橋を叩いて」その安全性を確めては置くが、渡る必要と機會がなければ無理には渡らぬと云ふ主義である、かく云へば極めて消極的の人の樣に思はれるが、一旦實行に取りかゝつたが最後徹底的にやり遂げねば已まぬと云ふ氣性の持主であり、謂はゞ「熟慮斷行」の人である、今や内外情勢重大なるとき滿洲に中將を迎へることはあらゆる方面から最も期待されてゐる、中將は早くより夫人を喪ひ、その後獨身で通してゐるが亡夫人との間には一男一女があり倶に學習院に在學してゐる、中將の略歷左の如し

卅七年步兵少尉に任官し昭和九年陸軍中將に累進、その間陸軍省兵器局課員、步兵第三聯隊長、參謀本部課長兼陸軍大學校教官、軍務課員、參謀本部總務部長、支那駐屯軍司令官、第二師團長、陸軍次官等を歷任し昭和十三年夏以來○○方面の某要職につき今日に至つたものである【寫眞は（上）植田大將、（下）梅津中將】

獨潛水艦一隻を擊沈

英國側一般戰況を發表

【ロンドン七日發國通】英國側は七日一般的戰況に關し大要次の如く發表した

一、英海軍の作戰に關してはその後特に報告すべき事なきもドイツ潛水艦の掃蕩は引續き行われてをり、すくなくとも一回は敵潛水艦の擊沈に成功した模樣である

一、ホールブラザース會社所有船ローヤル・セプター號（四〇五三トン）はドイツ潛水艦のために擊沈された

一、エラーマンライン會社のコリンシアン號（三一三〇トン）も同樣ドイツ潛水艦の襲擊をうけたが、何等の損傷を蒙らず歸港した

一、約廿七隻噸數合計十一萬九千トンのドイツ商船がスペイン西海岸ヴイゴ港に避難中と報ぜられてゐる

佛軍膠着狀態

【パリ六日發國通】フランス軍は西部戰線攻擊開始以來三日を經過し七日フランス軍參謀本部の命令一下一齊に進擊を開始したが西部戰線はバーゼル、スドラスダールからライン堡壘一帶に亘る獨戰線の突破は困難を極めてをり從つてフランス軍は專ら北部國境突破に全力を傾注してゐる、尙は北部國境を突破したフランス軍は目下膠着狀態に陷り進擊不可能で僅かに野砲部隊が砲擊を繼續してゐるに過ぎない

英米大使引揚

【ベルリン六日發國通】スエーデンより當地に達した情報によればポーランド駐在英米大使は六日ワルソーを引揚げたと云はれるが、ワルソー市街は避難者を以つて身動きならぬ程雜沓を極めてゐる（D・N・B）

英貨物船爆破

【リスボン七日發國通】大西洋における英船の遭難事件瀕々たる折柄またまた英國貨物船マナール號（七二四二トン）が大西洋で魚雷攻擊を受け爆沈された、乘組員中五十八名は生死不明となり生存船員二十九名が七日リスボン港に到着した

トルコの抱込みに英獨の工作活潑

一千五百萬磅の借款供與說

【イスタンブール七日發國通】戰爭勃發後英獨兩國のトルコ抱き込み工作は俄然活潑となつてゐるが七日イスタンブール財界消息通の語るところによれば英國政府は最近トルコに對して一千五百萬磅の借款を供與したといはれ英國は今後更に多額の借款をトルコに與へることになる模樣である

先遣部隊前哨線で激戰中

【パリ七日發國通】西部戰線における最近の戰況につき七日パリに達した情報によればルクセンブルグおよびラウテルブルグの線においてドイツ國境を突破したフランス軍の先遣部隊は目下ドイツの前哨線で猛烈な戰鬪を展開しつゝある模樣、これにつゞく有力な本隊も着々順調にその作戰行動を展開、對獨攻擊態勢は逐次完成されんとしてゐる

日本婦人を濁流中に英兵が投込む

【天津七日發國通】再度に亘る英人のわが國旗侮辱事件が未だ解決を見ざる矢先、またもや英兵の日本婦人に對する海賊的暴行事件が發生しわが出先當局をして極度に憤慨せしめてゐる、即ち六日午後六時天津特二區居住の日本人井上定夫氏夫人がボートに支那人ボーイを乘せ英租界と特一區の境界線を航行中英兵四名の乘つてゐる船がその附近で沈沒し同船を求められたので井上夫人は淺いところでもあり小型のため不可能なる旨を述べ拒絕したところ英兵は同夫人に亂暴を加へた上無殘にも濁流中に引づり降した上ボートを奪つて何れかに漕去つた、支那人ボーイの急報により中街檢問所警備の衛兵並びに憲兵が急行したがすでにその附近には姿を見せなかつた右不祥事件に對しわが總領事館では七日午後五時功力副領事をして英總領事館を訪問せしめ嚴重抗議を發した、英側の回答如何によつては重大決意を有してゐる

駐滿大使館付武官遠藤三郎少將

【東京國通】駐滿大使館付武官の更迭は八日官報を以つて左の如く發令された

滿洲國在勤帝國大使館付武官兼勤被仰付　陸軍少將　遠藤三郎
同　滿洲國在勤帝國大使館付武官兼勤被免　矢野音三郎

人事往來

着京

▲下村長三郎氏（大連ゴルフ倶樂部支配人）廿日來京ヤマトホテル
▲坂西由藏氏（神戸商大教授）同
▲通信社社長）國都ホテル
▲中村常四郎氏（官吏）同
▲上野一郎氏（日滿商事）同
▲小安熊男氏（會社員）同
▲久松治氏（日滿商事）同
▲栗本秀顯氏（牡丹江領事館副領事）同
▲石見文秀氏（土建業）同
▲石見助一氏（木材商）同
▲山下順氏（昭和製鋼）三國ホテル
▲山本榮助氏（會社員）同
▲佐々木彌藤氏（同）同
▲大槻春男氏（會社員）同
▲入江又夫氏（滿鐵社員）同
▲小味淵肇氏（同）同
▲島本朗氏（帝國酸素技師）同
▲吉岡正隆氏（會社員）同
▲島田鐵郎氏（計理士）同
▲安本通治氏（滿鐵社員）同
▲蓮尾誌藏氏（官吏）同
▲藤田義勝氏（官吏）蓬萊ホテル
▲中山信喜氏（同）同
▲原田辰夫氏（東邊道社員）同
▲齊藤固氏（東海產業常務取締役）大都ホテル
▲關口保氏（崇靈聯合委員會總務顧問）同
▲小松總介氏（福昌公司）同
▲水内忠氏（滿洲工廠取締役）同
▲八木助市氏（神戸商大教授）滿蒙ホテル
▲橋本彰氏（東京建物重役）同
▲藤田聯藏氏（會社員）同
▲土屋久泰氏（教師）同
▲川崎清男氏（會社重役）同
▲山本節民氏（同）同
▲坂井辰三郎氏（教授）同
▲佐藤象次郎氏（哈爾濱商況

出發

▲下村宏博士（貴族院議員）新京ヤマトホテル
▲八木助市氏（神戸高商教授）滿蒙ホテル
▲橋本彰氏（東京建物會社重役）同
▲栗本秀顯氏（副領事）着京國都ホテル
▲水口忠氏（滿洲工廠取締役）新京大都ホテル
▲大橋忠一氏　七日大連へ
▲加美好男氏　同
▲伊藤貞市氏　本溪湖
▲後藤常男氏　同
▲五島消象氏　同
▲小林鐵太郎氏　奉天へ
▲田中豐氏　吉林へ
▲久保義光氏　同
▲玉置正治氏　京城へ
▲井本信次氏　奉天へ
▲井坂達太氏　北海道へ
▲渡邊伊策氏　奉天へ
▲飛昇氏　同
▲瀨戸主計氏　同
▲高津豐久氏　哈市へ
▲藤本謙太郎氏　吉林へ
▲黑田義廣氏　大連へ
▲山本寅雄氏　同
▲瀧口民三氏　哈市へ
▲伊藤愼氏　東京へ
▲角川政治氏　哈市へ
▲平山裕氏　京城へ
▲山本最純氏　奉天へ
▲加藤久郎氏　同
▲本庄完氏　同
▲島田合一氏　内地へ
▲北猛夫氏　奉天へ
▲長谷川岱次氏　大連へ
▲林道男氏、哈市へ
▲猪原孝藏氏　奉天へ
▲小松大一氏　佳木斯へ
△下村宏氏（貴族院議員）京城へ
△竹中鍋三氏（滿洲炭礦會社炭礦長）哈爾濱へ

その日〳〵

□ 關東軍司令官、全權大使更迭、頭腦の將軍後任に梅津美治郎中將を迎ふ

□ 三千萬民衆と共に植田大將の去るを惜しみ、梅津中將の來任の歡迎する

□ ポーランド側の捕虜二萬五千、開戰以來未だ一週日を出でざるに

□ トルコ抱込みに英佛の工作活潑、屬領は別としてミイラれた國こそいゝ災難

□ 西部戰線膠着狀態、どうも英佛は本氣でかゝつてゐる樣に見えぬがサテどうか

あす大同公園で殉職警官慰靈祭
雨天ならば協和會館で擧行

滿洲國警察協會主催の殉職警察官慰靈祭及び奉納武道大會は來る九日午前九時から大同公園で擧行される、若し雨天の場合は協和會館に會場を變更する尙參列者は八時四十分迄に入場されたいと、因に當日の式次第は左の通りである

參列者着席△僧侶着席△爆竹△開式の辭（副委員長）△奏樂△讀經△祭文（祭主治安部大臣）△祭詞＝國務總理大臣、省長代表、警務廳長並警察職員代表、滿洲帝國協和會代表△祭電朗讀△奏樂△讀經△祭主燒香△遺族代表燒香△委員長燒香△國務總理大臣燒香△總務長官燒香△滿洲國軍事最高顧問燒香△來賓燒香△挨拶並閉式の辭（委員長）△參列者退場

火事季節を前に消防署張り切る
古賀警佐等實地研究に赴連

火災シーズンを目前に控へて首都警察廳では消防署の機能充實のため豫ねてドイツに注文中であつた梯子式消防自動車が愈十一月中に到着することに決定したのでこれの操作に習熟せしめるため古賀警佐ほか四名を大連消防署に派遣し訓練を受けさせることになつた

曙湯で盜まる

七日午後八時三十分頃曙町四丁目六ノ四曙湯で日本橋通八二中央郵政局勤務村上吉市さんは下駄箱に入れて置いた短靴（三十圓）、梅ケ枝町四丁目三八滿洲種子配給協會勤務金東孫さんは協和服ズボン、ノータイシャツ、懷中時計、財布（現金二圓）、曙町四丁目六國都建設局丁善出さんは腕時計（四十圓）を何れも入浴中に失敬されて中央通署に訴へ出た

僞手紙で一仕事

六日午後十一時三十分頃新京驛三等待合室を徘徊する擧動不審の滿人男を警護隊驛詰所員が同行し取調べたところ、永吉縣生れ住所不定李安春（二六）で、服裝に似合はぬ上等新品キットをはき、中型トランクを所持してゐるが中は空ッぽ、現金六十圓を持つてゐて追求の返答チグハグな折吉林警護隊から詐欺犯住所不定李安春（二六）と指名手配して來てはじめてそれと判り隊に送致した、隊司法係で嚴重追及した結果李はかねて顏見知りの鐵北三不管張盛棧方安永富（二五）君が京圖線列車內湯茶販賣人なのを幸ひ一仕事すべく、一日安君の下宿に赴き暫く置いて貰ふやう頼み込み、種々策を繞らした結果、さも資産家の息子のやうに見せかけ、今度安君が吉林に行く時手紙を持つて行つて兩親の許から毛皮付オーバー、腕時計、上等衣服等々持つて來てくれと話しかけたところ安君が承知したので李は早速吉林の兩親（實は出鱈目）に僞手紙を書いて渡し五日朝安君が出發する時小遣に二十圓貸してくれとまんまとせしめた上ゆつくりと安君の家財道具を古物商に二足三文で賣り拂ひ哈爾濱に高飛びしやうとしてゐたもので、なほこの狡智で李は詐欺窃盜四件四百五十圓を働いたことを自白目下餘罪取調べ中

街の日記

各學校運動會

新京各初中等學校の秋季運動會は左の日割で行はれる

▲新京中學校 十二日午前八時半
▲新京商業學校 二十日午前八時國防競技會として行ふ
▲青年學校 未定
▲敷島高女 十七日午前八時
▲錦ケ丘高女 十七日午前九時
▲室町小學校 十三日午前八時
▲西廣場小學校 十三日午前八時半
▲櫻木小學校 十日午前八時半
▲順天小學校 十日午前八時
▲八島小學校 十日午前八時
▲三笠小學校 十三日午前八時
▲白菊小學校 十七日午前八時

・協和會話學講習所開講式・

協和會首都本部構內の四道街口協和俱樂部附設語學講習所の講習會は講習生四十名を集めて七日午後七時から開講したが諸行事の都合により閉講式は十四、五日頃に行はれる筈である

・滿鐵の防諜週間終る・

滿鐵新京支社の防諜週間は九日をもつて終了するので同日午前九時から支社三階大會議室に於て平島支社長より在京社員に對し一場の訓示を行ひ防諜に關し一層の認識を深めることになつた

・音樂院野外定期公演・

新京音樂院野外定期公演は九日午後七時半から大同公園音樂堂で行はれるが曲目は左の通りである

一、剛毅な伯爵キング 二、輕騎兵、ズッペ 三、軍隊ポロネーズ、ショパン 四、結婚行進曲、メンデルスゾーン 五、ニーベルゲン、ワーグナー 六、グラナダのいこひ、クルーエ 七、名歌劇集、小貫編 八、ローレライ、ネスヴアドバ番外協和行進歌、愛國行進曲

あす（八日）

▲電氣協會會議午後四時より於ヤマトホテル
▲水彩畫の展覽會午前九時より午後七時まで 於國防會館
▲全滿警察官慰靈祭並に武道大會 於大同公園
▲ノモンハン戰利品展 於北安路天理敎傳道廳構內
▲滿洲國體育大會 於南嶺、大同公園、京商

トラックの上で風紀を紊す男女
巡邏の警官に現場を押へらる

八日午前七時頃富士町派出所員が富士町三丁目附近を巡視中一四番地先平壤館前に停留中のトラックの中で半島人男女が奇態な恰好で風紀を紊してゐるので連行取調べた結果男は東四條通一七ノ五黃炳國方高斗兒（二六）女は萬寶山農榮金武進（三一）と云ひ、七日夜萬寶山から來京した金が何處の旅館も滿員で困りはてゝゐるのを見た高が甘言を弄して云ひ寄り、同女を平壤館前にあつたトラックの中に引入れ無理矢理に貞操を奪ひそのまゝ車の中で夢の一夜を過ごしたもので、本署に檢束した

朝鮮料亭で大暴れ
警察官と僞る

八日午前一時三十分頃日本橋通交番に三笠町三丁目一三朝鮮料理店有明からお客が暴れて手がつけられないから取靜めて下さいと訴へて來たので係官馳けつけ醉漢を同所に連行取調べたところ、右は崇智路三七號ノ五窪田正雄（二九）假名でフラくに醉ばらつて有明に登樓酌婦笑蝶を擧げて遊興してゐたが、些細なことから笑蝶に暴行を働き、家人の止めるのも聞かず誰彼の區別なし喰つてかゝり果ては「俺は警察官だ」と威張り散らしてゐたこと判明、ニセ警官橫行の折柄怪しからぬとあつて本署に檢束した

磯谷參謀長
軍人遺家族救護費に寄附

關東軍磯谷參謀長は過日逝去した令孃の香奠返しとして金一千圓を軍人遺家族救護費の一部として八日滿洲軍事後援會に寄贈した

經濟警察制度愈よ近く實施
戰時經濟運用の完璧を期す

戰時經濟統制の强化に伴ひ政府は經濟關係諸法令の公布と[illegible]察制度の實施を考慮中であつたが、七日の警察廳長會議において植田警務司長は近く關係諸部長と協議の上經濟警察制度を實施する旨を明かにし各方面の注意を惹いてゐる、即ち當局の言明する處によれば政府は首腦並びに各地警察廳に取締委員會を設置し主として配給部門における經濟警察制度を確立し經濟法規を中心とする違法行爲、脫法行爲を嚴重に取締り、もつて戰時經濟運用の完璧を期せんとするもので近く國務院會議に上程の筈である

錦熱未開放蒙地の處理に關し[illegible]過般同地八旗の五公蒙民が奏上を決定したが八日午前十[illegible]張總理、星野長官、總務廳各[illegible]官、博兩參與官、金熱河省長、武內次長蒙地側より雲丹桑布[illegible]旗長代表、拉沁旺楚克蒙古王公代表ほか十三名出席奏上式が擧行せられた【寫眞は奏上式】

祖國の悲報！斷腸の思ひ
一時陷落すとも必ず首都は奪還
憂愁閉す表情 在哈波領事語る

首都ワルソー陷落近しの悲報に七日在哈ポーランド人は憂愁に閉され祖國の興亡を氣遣ふポーランド人は續々領事館へつめかけ憂色一入濃く悲痛な空氣に包まれてゐる、獨軍ワルソーへ六十粁に迫るの報を齎して領事館にリチフスキー氏を訪へば、在滿ポーランド人の動向について語る

ワルソーは私にとつて懷しい故鄕だ、そのワルソーが今兵火に包まれんとしてゐる事を思へば斷腸の思ひがする、併し假令陷落しても一時で、必ず精鋭なる祖國の軍隊はこれを奪還するものと確信する、在滿ポーランド人は一千三百名でこの中兵籍關係者も相當あるが現在の狀態では應召しても入國不能なので極東におけるポーランド人はそのまゝ現地に居住せしめるといふことが本國の方針である滿洲國とポーランドの國交は滿洲國が中立を護るため何等變ることはない、從來の兩國貿易は今回の戰爭で中絕する事になるが在滿ポーランド人の多くは國鐵從業員であつた關係上恩給で生活してをり、商人は全體の二割位しかゐないので生活は打擊を受けることが少ない、目下本國政府との通信は杜絕し、ラヂオその他によつて本國の動向を知るだけだが、在滿ポーランド人は滿洲國を絕對に信賴し平和な生活を續けられることに對して大いに感謝してゐる

在哈英人も應召

英國の對獨宣戰布告と同時に在哈英國人にも極秘裡に動員令が下り旣に哈爾濱から動員に應召したものは數名に達して居ると言はれる、これら英人應召者は本國政府の命により行先は絕對に極秘に附し驛頭の歡送も避けて默々と出發して居り在哈英人軍籍者中には何時動員されても直ちに出發し得る準備を進めてゐるものもあり悲壯な色を漲らして居る、なほ在哈英人數は百十名である

在奉獨逸人
英系銀行から預金引出

英國の對獨宣戰と共に歐洲情勢は刻々變化しつゝある折柄六日午後全滿ドイツ人商工會議所會頭イーベン氏は會頭の名を以て全滿ドイツ商社に呼びかけ英系香港上海銀行からの預金引出しを命じたので在奉ドイツ人四十六商社は五日午後、六日朝にかけ香港上海銀行奉天支店より預金引出しを開始、ドイツ領事館の斡旋で橫濱正金銀行奉天支店へ預け替へを行ひつゝあるが在奉ドイツ人四十六社の香港上海銀行奉天支店の總預金額は數百萬圓にのぼるものと見られ香港上海銀行への影響は相當に大きい

富井カナダ公使

來京中の富井カナダ公使並びに加藤シャトル領事は八日午前八時十分新京發列車で朝鮮經由東上した

軟式庭球軍凱旋

日本各地に遠征全日本軍と對戰優勝の榮冠をかち得た滿洲國軟式庭球代表選手一行は赫々の戰功を物語る優勝旗を押し立てゝ九日午前十一時四十二分着のぞみで凱旋する

全滿體育大會
あすから開會

國民體位向上、心身練磨を目的とする大滿洲帝國國體育聯盟主催第八回全滿體育大會は非常時下全滿若人が意氣と熱をこゝに凝結して秋色濃き國都新京において九、十の兩日隨所に絢爛スポーツの熱戰譜を奏でる

參加都市、省並に人員は新京市の百廿八名をはじめ奉天市五十五、鞍山市卅九、撫順市廿三、哈爾濱市廿七、奉天省十六、吉林省五十九、安東省四十八、錦州省廿三、熱河省二、龍江省一、通化省三、三江省六、興安東省四十八の五市九省總數四百十八名の多きに達しこれら銃後青年が一堂に會し質實剛健な精神力と不百不屈の體力に心强い歩みを見せ各競技に熱と力の爭覇が歐洲大戰動亂、滿蒙國境風雲急を告げるこの戰時下に緊張を織りなして繰展げる熱戰こそ壯觀であらう

種目は陸上、籠球、排球、硬式庭球、體操の五種目であるが、陸上競技は新裝成つた南嶺綜合競技場、籠球、排球は大同公園相撲場、硬式庭球は同公園硬式庭球場、體操は新京商業學校校庭にそれぞれ開かれることゝなつた

全滿中等學校角道大會

滿洲角道會主催、第一回全滿中等學校角道大會兼明治神宮體育大會豫選會は來る十日午後一時より新京忠靈塔角道場において擧行される、出場校は新京中學（北滿大會優勝校）撫順中學（中滿大會優勝校）奉天一中（同準優勝校）大連中學（南滿大會優勝校）大連商業（同準優勝校）の五校である

宮崎菊雄君何處

入船町二丁目二一宮崎泰さん長男室町小學校四年生菊雄（一二）さんは七日午前八時學校に赴いたまゝ夜になつても歸宅しないので、泰さんは中央通署に搜査方を願ひ出た

人事相談係
防犯協會移轉か

新京防犯協會では防犯思想の徹底、防犯常識の普及に大童の活動を續けてゐるが未だ一般には防犯協會の所在すら知らないものが多く二月首都警察廳司法科內に事務所を置いて以來防犯に關して相談を受けた樣なことは一回もなく斯くては防犯協會設立の趣旨に沿はないので現在保安科保安股の管掌事務となつてゐる人事相談係を協會に移すべく運動中である

運轉手免許試驗

首都警察廳保安科では南嶺の自動車試驗場コース不良の爲先般來自動車運轉手免許技能試驗を延期中であつたが、十一日より三日間左の如く施行することゝなつた、なほ同試驗合格者は來る廿日學科試驗を施行し合格者の發表は今月末頃になる豫定である

△十一日 普通免許 長通路寬城子、和順各署（出願者百名）
△十二日 同 （中央通、四道街、順天各署（出願者百名）
△十三日 小型及特殊免許全署管內（出願者百七十名）

ニッポン號消息

【バーバンク七日發國通】世界一周機ニッポン號は七日午前九時五分（滿洲時間八日午前二時五分）ロスアンゼルス在留官民の盛大な見送りを受けてロスアンゼルス郊外のバーバンク飛行場を出發ニューメキシコ州のアルバカーキー市に向つた

【アルバカーキー七日發國通】ニッポン號は途中快翔を續け七日午後二時七分ニューメキシコ州のアルバカーキー飛行場に安着した

獸醫畜產學會總會

第二十六回滿洲獸醫畜產學會總會は八、九兩日に亘り日滿軍人會館において來賓として呂產業、于治安部兩大臣、遊佐馬政局長等の外、國內獸醫畜產關係者約三百名出席の下に開催、會議第一日は八日午前九時開會庶務會計報告役員の改選を行ひ、ついで午後一時再開金子定一少將の講演あり同四時散會する、第二日は同樣九日午前九時開會、奉天獸疫研究所同馬疫研究所、公主嶺農事試驗場等の職員より研究發表ある筈

廣瀨駐ソ大使館書記官着京

獨ソ提携その他最近の對ソ關係報告のため急遽歸朝の途にある廣瀨モスクワ大使館書記官は竹中書記生ならびに家族を同伴七日午後一時廿分着あじあで哈爾濱より着京した、同氏は二泊の上駐滿大使館及び關東軍關係者に說明の上九日大連經由歸國の豫定である

・赤塚忠一氏水彩畫展・

日本水彩畫會の幹部赤塚忠一氏は大陸寫生旅行の途來京、九日から十二日まで國防會館三階で個人展兼卽賣會を催す

・市縣旗視學講習會・

敎育司主催の市縣旗視學講習會は全滿から約百名參會の下に來る廿日から十月三日まで二週間南嶺中央訓練所で開催する

・故岩永同盟社長追悼會・

去る二日逝去した同盟通信社々長故岩永裕吉氏の社葬は七日午後一時四十分から東京青山齋場で執行されたが、國通では同時刻に森田社長以下全社員が會議室に參集して追悼會を執行した、正面に故岩永同盟社長の寫眞を揭げ定刻一同敬禮のゝち一分間の默禱を捧げ續いて森田社長より通信界の恩人として又國通創立の功勞者として故人の德をたゝへる追憶談を行ひ同一時五十五分閉式した

團體往來（八日）

△京都府滿洲移住地視察團二十四名 同午前八時十分發奉天へ
△農林省分村計畫視察團二十七名同午前九時二十分發奉天へ
△滿洲國警察官百三十名 同午後三時二十五分奉天へ
△鳳城國民高等學校七十名 同右奉天へ
△永吉縣公立國民優級學校四十一名 同午後二時十五分着吉林より
△吉林國民優級學校七十六名 同午前十一時五十分着吉林より
△佐賀縣立神崎農學校四十八名 同午後六時三十九分着哈爾濱より
△農林省第一回分村計畫滿洲視察團二十三名 同午後九時四十分發周水子へ
△京城師範學校生徒八十二名 同午後十一時五分發周水子へ
△佐賀縣伊萬里農林學校生徒五十名 同午後十一時五十分發哈爾濱へ

今晚のまなる放送

▲七・二〇國民歌謠「興亞奉公の歌」（東京）▲七・四〇防衛講座「息詰る世界情勢」（新京）三浦義臣▲八・〇〇哥澤（大連）晩勝▲八・一〇歌謠曲（大連）▲九・二〇ラヂオ風景「大陸に聽く」（東京）鶴賀喬外

映畫と演藝

「清水港」「森の石松」等 虎造長講二席
愈よ今夕帝キネ蓋開

レコードにラヂオに、また映畫に有名な浪曲界の人氣王廣澤虎造一行はファン待望裡に愈よけふから二日間（夜間のみ）帝都キネマにおいて開演するが一行の顔ぶれは虎造以下浪花亭綾君、廣澤虎太郎、秩父榮子、廣澤右虎造、廣澤虎陽、泉銀月等一門の藝達者なところを揃へ虎造はお馴染みの「男の魂」「熱血の道」「清水港」「森の石松」を二日間に亘り長講二席を讀む、流石今人氣の絶頂をゆくだけに前人氣は空前の沸騰ぶり、市内百貨店其他の會員券の賣行きは如實に物語つてゐる入場料は三圓と二圓五十錢【寫眞は廣澤虎造】

日本映畫の本格的な歐洲進出が實現され樣としてゐる

役者はつぶしがきかぬか？
薪次郎抗議文

著書「事變はどう片付くか」の中へ〃つぶしのきかないのは役者ばかりだ……〃と小林一三さんが筆を辷らせたのに對して役者の世界はこゝもと甚だうるさくなつてゐるが中でもカン〲になつてゐるのが六代目で、つぶしがきくかきかないか物は試しだ、つぶして見てもらはうか、こんなことを云はれて默つてゐるから、役者なんていつまでたつても甘く見られてゐるんだ、と云ふ師匠の言葉に共鳴したのが故彦三郎門下の多血漢で彦三郎歿後六代目に引取られてその門下になつてゐる坂東薪次郎

私が一番役者を代表して小林さんの處へ抗議を申込んで來ませうか、と云はれてみるとさすがに六代目も年で、まあ〱あせるな、云ふ事は何時でも云へるからもう暫く辛抱しろ、となだめてゐる折も折、區役所の兵事係から赤紙、云はずと知れた召集だ、六代目は飛び上つて喜んだ、と云ふのは、薪次郎の今度の應召で俳優協會から出征した役者は實に總計三十六名

お國から召されて戰線へ行くこの名譽ある役者をつかまへて〃つぶし〃がきかぬとは何事だ、と云ふのだ、よし今こそ俺が許すから、應召の赤襷をかけて小林さんの處へ暇乞に行つて來い、と六代目は云ひ、薪次郎もその氣になつたが、結局、應召日が目前に切迫して餘日がないところから薪次郎は『つぶしのきかぬ役者が戰地へ行つてまゐります』の一文を草して小林さんに送り、日勇躍原隊に入ることになつた

各館評判記

◇…長春座と新京キネマ、豐樂劇場けふから寫眞替り、三館とも松竹プロで長春座に封切が出ます

◇…トリは前週に引續いてお目見得の「日本の妻」後篇で苦鬪の巻です、主演者スタッフともに前篇通り、川崎弘子の熱演に催涙趣向愈よ濃厚大いに稼ぐことでありませう添物は小猿七之助の映畫化「新月隅田川」で好太郎と伏見姉妹が共演します、このところ好太郎物は舞台劇の取入れに懸命ですが、これも餘り多くは期待出來ない大曾根辰夫監督作品

◇…そこへゆくと再映陣の「子供の四季」が内容的にはぐつと愉しめます、葉山正雄横山準其他の子役陣に阪本、吉川、河村、西村、岡村等の大人陣を配して、こゝでは清水宏も「風の中の子供」の破綻はなく春夏秋冬の長尺を通じて味ひ深いものとなつてゐます

映畫コンクール 審査延期

第七回國際映畫コンクールは去る八月四日よりヴエネチアに於いてゲッベルス、アルフイエリ獨伊兩宣傳相を迎へてファルピ映畫コンクール總裁司會の下に、三週間に亘り參加十ケ國よりの出品映畫を上映、ムッソリーニ賞其の他の順位決定を急いでゐたが、國際情勢の急激な變化のため、決定の結果が現在の微妙な國際關係の下に政治的色彩を帶びることを考慮し、卅一日の最終委員會は、各國委員の贊同を得て、九月十五日迄順位審査を延期することになつた旨一日コンクール當局から發表された、尚我國の「土」及び「上海陸戰隊」は、有力な入賞候補作品と目されて居り、

年貢を收める與太者シリーズ

松竹大船の名物として、盛んに銀幕を暴れ廻つた與太者トリオも、三井秀男の松竹退社から中絶し、十數本の與太者シリーズを發表したまゝ有耶無耶になつてゐたが、拔けた三井も既に復社し、磯野秋雄阿部正三郎、三井秀男の三名の顔も揃つてゐるので、この際久々で與太者シリーズを製作しようとの計畫が進められ、與太者トリオ育ての親とも云ふべき野村浩將監督の下に「悔悟する與太者」（假題）を撮る事となつた、尚大船では時局柄「與太者」もこゝらが年貢の納め時と「悔悟」を機にこのシリーズを打切り、この一篇を最終篇とする方針だとある

仙人掌

扇芳會館のジャズシンガーが變つて、新人歌手はハルビンから迎へられたオギー魚美孃キャバレー調のエロッぽさが扇芳會館の持味に溶け合つて「秋來れば踊らん哉」の雰圍氣を釀し出してゐる▼新京會館に二日前から眞山つやと名乘る新人が現はれた、甲野銀子孃の妹分として女學生調の清純さがこの人の身上▼前任地（？）は天津で水禍の街に戀しい人を殘してきた樣な愁しい面影はまだ國都に馴れない故だそうだ、水に追はれた彼女を火の熱情で暖めてやつて下さい、なんてこれは餘計な言分かナ

雑音

帝キネはけふから虎造の浪曲公演だが、九日は土曜日とあつて晝間だけは映畫をやる、東發東宗和伸監督の「松下村塾」と「にんじん」の二本で十三日迄このまゝのプロでゆく▼「松下村塾」は内容的にはとも角、プロとしては仲々扱ひ難いものゝやうである、「にんじん」との組合せは相當苦心の跡を止めてゐる▼エノケン、アチヤ、金語樓の「水戸黄門漫遊記」と「エノケンの魔術師」を組んだ朝日座、東寶のプロは不得手と見えたが笑劇番組は例外とみへて初日から滿員の盛況を見せた

東京・本郷・神誠館

土曜 己酉 友引 建 柳宿
七月廿六日
九月九日

●一白の人 何物も妨ぐることは能はざる隆運日起業大吉 南と艮と乾が吉
●二黑の人 心身共に落付かず旅行移轉企業何れも凶日 坤と艮と南が吉
●三碧の人 手紙書付け等人の手に渡る物には注意の日 乾と坤と壬が吉
●四綠の人 苦は去りて追々と樂に向ひ來る日金談は凶 坤と壬と丙が吉
●五黃の人 油斷すれば逆行し易き日金談約束事何も凶 坤と艮と南が吉
●六白の人 内に英氣を養ふて輕擧妄動は深く戒むべし 巽と南と艮が吉
●七赤の人 事成るに近きて瞬間に破敗、生じ易き凶日 巽と艮と庚が吉
●八白の人 氣分軟弱に陷り易き日無理をすれば損失す 坤と巽と丙が吉
●九紫の人 心の曇り取れて愉快に物事の運び行く吉日 乾と巽と乙が吉

近藤勇

(上築上演映) 橋爪彦七 西正世志畫

(九)

影の男 (一)

めづらしく、勇が、歳三や沖田、永倉など六七名を伴れて、柳橋の萬八樓で遊んでゐた。

もう、かなりに醉ひが廻つた頃だつたし、席も亂れかけてゐたので、沖田が立つて行つたのを、女たちまで氣附かずに居た。

その沖田が、どす〳〵と、足音荒く戻つてくるなり、すぐ大刀を引ッ攜げて出かけやうとした。

『何だ?沖田!』

山南が、驚いて、沖田總司の腕を摑んだ。

『放せッ』

沖田が喚くのを、

『待て、理由を云へ、どうしたのだ?』

そこへ、藤堂が立つて來て

『いかんッ、何をする沖田、血相をかへて、貴様!』

摺り抜けやうと、藻搔く沖田が腕を把られて、押へられて、だが一層眼を血走らせて

『無禮な奴が——』

と、喘ぐやうに云つた。

勇の隣りにゐた歳三が、するすると寄つて來て、

『沖田、若いぞ貴様、顔色を變へて、なんだ、うむ?相手は誰だ?何者だ?』

沖田が、

『其處を、緩めてくれぬと——』

と、顔をしかめながら、

『拙者が、廊下を通りかゝると、向ふの座敷に居る侍が、嗤ひをつて——足もとが危ないなぞと』

『よせ、くだらぬ——』

歳三が、興褪めた顔になつたとき、

『沖田』

と、野太い勇の聲がした。

『——』

思はず、沖田が、瞳をやると、正面の勇が、鐵扇を膝に突いて、苦い顔をしてゐるのが見えた。

『騷ぐな』

勇は、きつぱりと云つて、

『場所柄を辨へるものだぞ。武士が何事だ。喋つたの囀はぬのなどと第一兵道に精進する者が、氣をつけい——』

『は』

沖田は、唇の色まで變へて、ぶる〳〵口邊を顫はせてゐたが、

『でも、拙者我慢が……』

『わからぬ男だ喃、出來る堪忍なら當然であるし、出來ぬのを——沖田、人は出來るだけ寛容でありたいものだぞ』

『……』

『さあ、飲め、もつと飲むのだ。貴様、酒に呑まれるやうでは……はッはッはッはッ大きい器にはなれんぞ』

『はい』

沖田は、憤りを堪へて、座に着いたが、膝の上に置いた掌が、自然にわなゝいてゐた。

暫くして——

沖田が、

『歸る』

と、云ひ出したので、隣席の山南が、

『なぜ?』

と、云つて、ぢろりと沖田の顔を見た。

『濟まぬが、この席を外させてもらひたいのだ、この上飲むと、拙者は……』

山南が、

『どうする?』

と、見てゐる永倉に訊ねた。

『困つた男だ』

永倉が、さう云つて、微笑で、勇を眺めると、勇も、よんどころない微笑を送り返してきた。

沖田が、

『御免——』

と、立ち上つた。

歳三が、意味あり氣な眸を投げて、

『しくじるなよ』

聲に、沖田が、一瞬はッとなつたやうだつた。

外は、暮色。何處からか幽艶な爪彈きが聞えて——

商況 八日前場

海外經濟電報

倫敦金塊	八磅八志
紐育金塊	三五弗〇〇〇
倫敦銀塊	二一片一六分五
同先物	二一片[illegible]六分五
紐育銀塊	三六仙四分三
孟買銀塊	休會

▲市俄古小麥

九月限	八八仙四分一
十二月限	八八仙〇〇〇
一月限	八九仙四分一

紐育棉花

現物	十仙〇〇
十月限	九仙五〇
十二月限	九仙三五
一月限	九仙三三
三月限	九仙二〇
五月限	九仙〇六
七月限	八仙八八

▲印棉

ブローチ	一八八留比〇〇
オームラ	一七三留比〇〇
ベンゴール	一四四留比〇〇

カルカッタ麻袋

鐵筋	二九留比八分一
青筋	三二留比六分五

▲紐育株式

スチール株	六四弗八分三
アナゴンダ株	三〇弗八分三

▲外國爲替

米英爲替	四弗六仙〇〇
米日爲替	二三弗六七仙
米支爲替	七弗一〇仙
英米爲替	二仙二八四分三
英佛爲替	一七五法郎〇〇
英日爲替	一志二片[illegible]
英支爲替	[illegible]
印日爲替	七八留比〇〇

▲滿洲中銀爲替

紐育向	二七弗一六分五
倫敦向	一志二片二分二

▲阪神爲替

對米賣	二三弗八分五
對米買	二三弗三二分二
對英賣	一志二片〇〇
對英買	一志二片四分一

各地株式市況

▲東京株式(短期) 寄付・大引 — ▲大阪株式(短期) — ▲大連株式(短期) [illegible]

各地特産市況

▲新京 ▲大豆 ▲大連 ▲大阪期米 ▲大阪人絹 ▲東京人絹 ▲大阪棉花 ▲横濱生糸 [illegible]

ニユース		2,15	5,0	7,50
歌ふ乘合馬車	12,00	2,40	5,24	8,11
國定忠治一家	1,04	3,50	6,28	9,16 10,22

ニユース		1,2?	4,29	7,3
新月隅田川		1,53	4,57	8,00
日本の妻 後篇	12,00	3,04	6,08	9,12 10,15
五十錢				

ニユース		12,00	3,1?	6,40
浮世劇場		12,30	3,45	7,10
子供の四季 前篇		12,50	4,05	7,3?
子供の四季 後篇		2,00	5,25	8,5? 10,??

ニユース		1,21	4,?8	7,35
子供の世界 春夏の巻		1,5?	4,57	8,06
子供の世界 秋冬の巻	12,00	3,07	6,14	9,21 10,38

エノケンの魔術師		1,25	4,30	7,30
ニユース		2,35	5,40	8,40
水戸黄門漫遊記	12,00	3,05	6,10	9,1 10,20

新京日日新聞　朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局専用（3）三二二五　營業局専用（3）三三〇〇

發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

梅津新駐滿全權大使

―昨夕空路新京飛行場に到着―

植田謙吉大將のあとをうけて駐滿全權大使の重任に就いた梅津美治郎中將は八日午後七時飛行機で着任した、この日飛行場には植田前大使をはじめ

關東軍隷下將星、新京海軍武官代理太田輔佐官、大使館各課長、關東局大津總長辻郷軍聯合分會長、滿洲國張總理以下各部大臣、參議府臧、橋本正副議長、各特殊會社代表者、國防婦人會代表等

出迎へ到着をまつうち新大使を乘せた日空の新鋭旅客機ロツクヒード大井號は夕燒に巨體を眞赤に輝かせて國都上空を大きく二旋回のゝち所定の位置にぴたとり靜止した、扉を排して降り起つた梅津新大使は戰場やけの童顔の口をへの字に結んで先づ植田前大使と劇的握手を交はしたのち飛行場事務所貴賓室に入り滿洲國皇帝陛下御差遣の掾侍從武官より有難き御言葉の傳達をうけ出迎への各機關代表者の挨拶をうけ大使館差廻しの自動車で大使官邸に入つた【寫眞は新舊兩大使の劇的會見】

滿獨修好條約追加條約

批准書交換手續を終る

康徳六年三月二十四日新京に於て滿洲國全權委員張總理と獨逸國全權委員ワグネル公使との間に署名調印を了し滿洲國に於ては八月一日に獨逸國に於ては八月十五日に各々批准を了したる滿洲國及獨逸國間修好條約追加條約批准書交換は九月七日獨逸外相リツベントロツプ氏と滿洲國全權公使呂宜文氏との間に手續を了した旨八日外務局に報告があつた、よつて政府は八日同條約を正式公布した、なほ本條約の効力は同條約第二條第二項の規定に基いて六年三月二十日の署名調印の日に遡及することゝなつた【寫眞は呂宜文公使（上）とリツベントロツプ獨外相】

修好追加條約

滿洲國政府及獨逸國政府は康徳五年五月十二日即ち千九百三十八年五月十二日に署名調印せられたる修好條約の實施の爲全權委任狀を交換し且其の良好妥當なることを認めたる下名の全權委員に依り左の諸條を協定せり

第一條

一、締約國の一方は他方の國民に對し自國の法令に從ひ（イ）入國、旅行、居留居住の自由を與ふべく（ロ）身體及財産の安全に付完全なる保護及恒常なる保障を與ふべし

二、締約國の一方は其の領域内に於て他方の國民に對し自國の法令に從ひ通商及航海に關する事項、產業、商業其の他の平和的業務に從事するの自由、租稅及課金の徴收並に財産の取得及處分に關する事項に付原則として最惠國の國民と同樣の待遇を與ふべし

第二條

本條約は成るべく速に批准せらるべく且批准書は伯林に於て交換せらるべし

本條約は批准書交換の上署名調印の日に遡及し效力を生ず

右證據として雙方の全權委員は漢文及獨逸文共同一の力を有する本條約各二通に署名調印せり

康徳六年三月二十日即ち一九三九年三月二十四日新京に於て作成す

滿洲國政府の爲　張景惠

獨逸國政府の爲　ウイルヘルム・ワグネル

農政研究會（第二日）

日滿農政研究會第二日は第一日に引續いて八日午前九時より國務院大講堂に開催農業人口保持、開拓政策と增產計畫との聯繫調查、農業政策の根本指導精神等の問題について協議を行ひ午後四時半散會したが、滿洲の人口動態、林業勞働者の特殊動態、農業生產物加工業の立地問題等將來の政策に關し有力なる示唆を與へ、增產計畫については企業經營等も力說され指導精神については物的問題から離れ絶對的に哲學的精神訓練が必要だと云ふことが力說されたことは注目に値する

一、農業人口保持に關する研究

（イ）日本農地擴大問題については畜力增大方策として飼料の增大を圖ることが必要で、開拓地增大等についても人口增加に比例して地方維持の立場から肥料の點も考慮せねばならぬ、要するにこれ等の問題解決の鍵は飼料を增加することだ（ロ）滿洲の人口動態は中年が多く、これは勃興期の國勢を物語るものであるがこの點をよく注意して參考とせねばならぬ、又滿洲には女子の少いことも注意を要する（ハ）滿洲の人口動態においては夏期に多く多期に減少するのであるが、特に森林勞働者においてはこれと反對で多期に多くなると云ふことは注意せねばならぬ（ニ）滿洲は地理的に南部に工場地帶、市場等が多く金融等も圓滑潤澤に行はれるに反し北部は少いから農產加工等ついにて立地點に考慮を拂はねばならぬ

二、開拓政策と增產計畫との聯繫

（イ）開拓問題には精神的訓練が必要であり建國精神とも云ふべきものが必要で要するに早くしかも開拓民の入植が實現されねばならない（ロ）開拓民の增加、その他農產物增加は必須のことであるが、これがためには企業營農の必要がある又開拓民農業についても一種のみではなく凡ゆる農業に向ふやうにせねばならぬ機械化農法については一部から反對もあつたが企業經營については相當研究すべき必要を認めた

三、指導精神　農業の指導精神は物的な根據を拂拭し絶對的に精神訓練が必要で日本と滿洲の事情は異つてもこれを指導する基本的なものに二つはない、哲學的精神訓練は根本的に研究せねばならぬだらう

遠藤武官着京

遠藤新大使館附武官は八日午前十一時四十分着のぞみで着任した

新任大使館附武官遠藤三郎少將は砲兵科の出身で陸士二十六期少佐から中佐時代關東軍に服務し滿洲國の建國に貢獻名參謀として敏腕を唱はれた、滿蒙の事情に精通し大使館附武官として適任と云はれてゐる

古田前參議

【東京國通】司法省刑事局長古田正武氏は腎臟病のため八日午後四時半杉並區荻窪の自宅で逝去した、享年五十一、氏は岐阜縣の出身、大正三年東大獨法科を卒業、同五年司法畑に入り累進して大審院檢事となり昭和八年滿洲國に聘せられ司法部總務司長、司法部次長に歷任同十三年同國參議に任ぜられた本年三月歸朝司法省調查部長ついで刑事局長となつた

人事往來

▲片山正夫氏（東大教授）八日來京ヤマトホテル

▲松浦靜男氏（松浦汽船會社社長）同國都ホテル

程氏暗殺犯

日本側で身柄引取り

【天津八日發國通】程錫庚暗殺犯人藍向臨外三名は、支那高等法院より日本側に引渡すことに決したのでわが憲兵隊では身柄引取りのため大田特高課長以下係官五名が八日午後二時半特二區警察局留置場に赴き嚴重警戒裡に正式に受取り軍トラツクで河北日本憲兵隊分隊に留置した、九日より一應取調べの上治安攪亂並に殺人の罪名により北京に護送軍律會議に附することゝなつた

陷落迫る首都死守

遂に少年兵も動員

波蘭の敗色愈よ深し

【ブダペスト七日發國通】波蘭リオウ放送局よりの放送によれば、ポーランド政府は十四才より二十才までの青少年全部に對し動員令を發した、更に右放送によればドイツ空軍は七日午前また大擧ワルソーを空襲、鐵道線路、停車場その他廣範圍に亘る爆擊を行つた▼【ローマ七日發國通】七日朝ローマに達した情報によればドイツ軍はその機械化快速力をもつて今や南北兩戰線よりポーランド一帶を制壓せんとしてをり現地從軍記者達はワルソーの陷落目睫の間にあり獨波戰爭はこゝ一週間で終結するものと觀測してゐる▼【ヘルシンキ七日發國通】當地發行のウンシ・スオミ紙は七日ワルソー通信として次の如く報道してゐる「六日以來ワルソーは完全に恐慌狀態に陷り避難民は陸續として市外東方へ向つて避難を行つてゐる、一方ラヂオは盛に誤報を放送し民衆の興奮鎭靜に努めてゐる」同紙は更に「ポーランドは其の主要產業地域を失つた今となつては全く絶望狀態に陷つた」と報じてゐる（D・N・B）

獨逸國内早くも戰捷氣分

【ベルリン七日發國通】ポーランド戰線におけるドイツ軍の急進擊、西部戰線における膠着狀態はドイツ國防軍の作戰が當を得たものとして早くもドイツ國内には勝利感がたゞよひはじめ刻々入手される報道も右を實證する好材料としてベルリン市民を歡喜させてゐる、すなはち

一、ドイツ軍のポーランドにおける作戰は豫定通り有效且迅速に進捗しつゝあること

一、其の安否を氣遣はれてゐたドイツ最大の汽船ブレーメン號は中立國海港に安着したとの報が傳はつたこと

一、西部戰線において未だに本格的戰鬪が開始されてゐないこと

一、英佛兩國空軍が依然として守勢的であること

等は何れもドイツ側に有利な戰局の推移として歡迎されてゐる

スロバキア軍進擊を開始

【ブダペスト七日發國通】當地に達した情報によればスロヴアキア軍の一部は七日獨軍と協力してワイクセル河に沿ひルブリン方面に向つて進擊を開始した、現在ポーランド軍はワルソーの北方ブーグ河及びワルソーよりラドムに向ふヴイスツラ河を楯とする最後の防禦陣によつて必死の抵抗を試みんとするやうであるが、一度北方ブーグ河（幅百米）の線を突破された場合ポーランド軍は全滅に陷るか或はルブリンよりハンガリー並にルーマニア方面に向つて進入する外あるまいと見られる【ブラチスラヴア七日發國通】當地駐屯スロバキア軍司令部發表によれば、タタラ高地東方の地點よりスロバキア軍はポーランド軍に猛擊を加へポーランド軍は道路、橋梁等を悉く破壞し、各村落に火を放つて退却した、尚當本戰鬪に於てスロバキア軍はポーランド軍捕虜多數を收容した、なほ四日、五日の兩日に亘つてポーランド空軍はプレソフ其他スロバキアの都市に對し空襲を試みたがスロバキア軍の地上部隊および飛行機の爲に擊退せられ一發の爆彈も投下せずして遁走した（D・N・B）

波第七師長捕虜

【ベルリン七日發國通】ドイツ國防軍最高司令部は七日ポーランド第七師團長ゴシオロフスキー將軍を捕虜とした旨發表した、ゴシオロルスキー將軍は一九三六年までポーランド陸軍參謀長の重職にあり故ピルヅスキー元帥股肱の一人である

佛大軍モーゼル谿谷集結

ドイツ軍攻擊の態勢

【ローマ七日發國通】七日ジヨルナーレ・デ・イタリア紙はルクセンブルグ特派員より電話による西部戰線の戰況記事を揭げフランスの大軍がモーゼル谿谷に集結してゐる旨次の如く報じてゐる

ドイツ、ルクセンブルグ國境のモーゼル谿谷においては今なほ獨佛兩軍の大衝突は行はれてゐない模樣だがフランス軍は既に同谿谷に大軍を集結しドイツ軍攻擊の態勢を備へてゐる

佛官邊、英陸軍の上陸を確認

【パリ七日發國通】フランス政府官邊では七日英國陸軍が續々英佛海峽を渡つてフランスに到着しつゝある旨を確認して左の如く述べた

英國陸軍部隊は續々フランスに到着しつゝあり、フランス軍と共同で對獨作戰に參加することゝなつた

尚フランス政府情報官ヂロード氏は英國の軍事的援助の重要性を指摘して左の如く語つた

現在英國の軍事的援助は先の歐洲大戰開始當時とは比較にならぬ程重要である、一九一四年にはドイツが強大な海軍を有してゐたのに反し今日英國は海上における絶對的優勢を持してゐる

佛内閣改造

【パリ七日發國通】對獨開戰と同時に戰時内閣の組織に着手したダラディエ首相は七日各派首領と會見して内閣改造に就き懇談を遂げたが、會談後ダラディエ首相は近くフランダン前首相（中央左派）、ブルーム前首相（社會黨首）等の入閣を求めて擧國一致内閣を組織することゝなつた旨發表した

ベツク外相、倫敦行か

【リガ七日發國通】リガ飛行場當局者の語る所によれば六日午後ポーランド機一機は同飛行場上空を通過無着陸の儘ストツクホルム方面へ飛び去つたと云はれる、一說によれば右飛行機にはベツク波蘭外相が搭乘してをりストツクホルム經由ロンドンに向ふ途上にあつたものであると云はれてゐる【寫眞はベツク外相】

英陸軍參謀總長ガ元帥と要談

【パリ七日發國通】英國陸軍參謀總長アイアンサイド大將は突如パリに乘込みフランス國防總監ガムラン元帥と長時間に亘つて協議を遂げた、會談の内容は英佛共同作戰に關し重要打合せを行つたものと見られるがアイアンサイド大將のパリ訪問は英國軍がすでに獨佛國境全線に配備されたものとして注目されてゐる

ユーゴー總動員

【ロンドン七日發國通】ユーゴー政府は歐洲戰爭擴大化の危險に對處、國務會議の決定に基いて連日國防軍の增强措置を行つてゐるが、七日ロンドンに達した情報によれば既に殆ど總動員の程度にまで達し動員數は五十萬人に上つてゐるといはれる、なほユーゴー政府は既に嚴正中立を宣言してゐるが、この中立宣言にも拘らずかゝる大規模動員は重視されてゐる

寺内、大角兩大將伊外相と懇談

【ローマ七日發國通】寺内、大角兩大將は七日午後六時キヂ宮にチアノ外相を訪問懇談の後、午後九時から日本友の會會長バウルツチ侯主催の歡迎宴に出席した

個泥

歐洲の戰爭は八百長のやうにも見えるし擴大するやうにも見える▼民族を異にする者共の喧嘩をこちらの頭でははつきり掴みどころのないのは無理もない▼いづれにしても人類の受難と苦惱の展開は決して我々をして對岸の火災視を許さないのである▼我々は地球の他の半面の事件を凝視しつゝ眞摯に自己民族の現在と今後とを省察して己れに備へる必要がある▼苟くも輕擧なる自己的樂觀と火事泥的根性による行動は嚴に戒愼すべきである▼東は東西は西である▼戰後の反動に備へて今こそ日本は眞劍必死の己の足場を踏みしめて東洋の安定と東洋有色人の團結完成に急がねばならぬ▼七日發令された駐滿大使が昨日常々飛行機で着任した▼そのスピーデイなると潑剌たる生氣は滿洲の將來に或る力强き暗示を與へるものと心强しとする

社説　革新はいかになつたか

めまぐるしい世界情勢の變轉ではあるが、われわれは日本國内の問題にも眼を注ぐことを怠つてはならないであらう。日本現在の政治機構や經濟機構並にその運用をそのまゝにして今後の大陸進展に臨むことが出來るであらうか。たとへばその行政機構を見るに、それは明治の初年に制定されたものが殆んどそのまゝ今日に及んで居り、國務の發展、複雜化、交通の整備、知識の向上普及等に伴つて果してよくその機能を發揮してゐるかどうかを疑はしめるものがある。議會制度にしても現在のまゝで果して最善なのであらうか。古い皮嚢に新しい酒が無理に盛られようとしてゐるのではないか。日本の教育は果して國民が今後海外に發展して行くのに充分なやうな教へ方をしてゐるであらうか。曾つては人口過剩に苦しんだのが一旦事變に遇へば忽ちに人口過少に苦しむといふのは本當は人口が過少なのではなく國民の組織に缺陷があるためであらう。農民は貧困に苦しみながら負債の整理不能その他の理由のために解脱の途與へられず、都會に於いては同業者過多のため生活苦はいつまでもやむべくもない。早急に徹底的に國民組織の再編成を實行し國外に必要とされる充分の人數を送ると同時に國内には各人悉くその業に安んじて安樂に生活し得るやう立直しの途が講ぜられねばならぬ。國民體位の向上もまた急務の一つである今日の如きわが國民の體力を以てして元氣旺盛な歐米人との充分の競爭に堪へ得るかどうか、亡國病たる結核は未だ充分に征服されず壯丁の體格は年々低下の趨勢にあると言はれてゐる、誠に心細い限りである。官吏に關する制度もぜひ改善を必要とするであらう。第一に其養成の方法で、現在の如く大學を出て高文試驗にパスして二、三年すれば直ちに課長の位置に坐り何ら事務上の周到な知識も社會上の充分な陶冶もなくして直ちに國民のあらゆる階級に接し且つこれを指導するといふ立場に立つといふのは非常な無理であらう。陸海軍がその首腦部を養成するために特に大學を設けてすでに本當の經歷を有するものゝ中より優秀者を選拔してこゝに入らせるといふ制度を採つてゐるのを大いに參考とすべきではあるまいか。滿洲國に於ける官吏養成の方法の如きもまさに參酌されてよいであらう。ひとり官吏の養成のみならず、その採用の方法、權限爭奪の防止、責任回避の弊風打破、豫算の公平なる分配、民意尊重の具體化等の點についてなほ幾多改善されねばならぬことが多いと考へられるのである。われわれは事變の慌だしさに心奪はれ國内の問題を緩せにしてはならぬ。

「蒙疆」の對歐態度　日本と同一步調　七日政務院佈告を發表

【張家口七日發國通】防共特殊地域として東亞新秩序建設に邁進しつゝある蒙古聯合自治政府では、今次勃發せる歐洲大戰の成行に對して深長なる關心を有してゐるが七日左の如く政務院佈告を發して日本と同一態度をとる旨聲明した

歐洲戰爭に關する佈告

治下人民に告ぐ蒙古聯合自治政府は今次歐洲戰爭に關しては、日本と同一態度を堅持し滿洲國及び中國新政權と提携して友邦日本の支那事變處理に協力し以つて東亞新秩序の建設に一路邁進せんとす、こゝにこれを佈告す

成吉思汗紀元七百卅四年九月七日

蒙古聯合自治政府政務院

維新政府　中立宣言

【南京七日發國通】維新政府は七日午後四時中外に左の中立宣言を發し、同時に在支各國大使宛右宣言を送達した

中立宣言

現在英、佛、波、獨各國は既に交戰狀態に入る、わが中華民國は今回の歐洲戰爭に對し自ら局外の地位に立つて中立を保持す、之れが中立を維持するため國際公法に照して毅然これを實行す依つて右維新政府の名を以て中外に宣布す　□

夏外交部長談

【南京七日發國通】維新政府の中立宣言に夏外交部長は次の如き談話を發表した

第一次歐洲大戰を省るに民國三年に發生し民國八年に至つて漸く結末を告げたがこの五年間交戰各國とも人民の苦みは筆舌に盡し難きものがあつた、今再び第二次大戰が勃發し民衆が廿年前味つた以上の悲慘な目に遭はんとしてゐるのに又吾人の慨嘆深きものがある、現在各國とも其の立場を既に表示した、わが中華民族は今正に自己の和平につとめて友邦日本と共同一致東亞の復興を圖らんとする今日歐洲の狀勢が如何に變遷しやうとわが國既定の國策はこれによつて動搖を來さない、故に今次歐洲大戰に對しては自ら中立を保持すべく既に政府の名を以つて中外に宣布した然し今日國内租界情勢の複雜なるに鑑み交戰國官民の擧動がわが國の中立態度に影響を及ぼすところがあるやも知れずわが政府として特に注意してゐる次第である、われわれは尚一日も速かに和平が蘇らんことを希望してやまない

目的達成のための「第一段階」を完了　二段階の内　汪、在滬記者團と會見

【上海八日發國通】汪精衛は七日日本人記者團との會見後七日午後五時から約一時間在上海各國記者團を茶會に招いて隔意なき懇談を遂げたが、席上大要次の如く述べた

われわれの目的達成のためには踏むべき二つの段階がある、その第一は國民黨を創立當時の性格に引き戾し、他の如何なる勢力の壓迫をも受けず行動の自由を獲得する事であり第二は無益な戰爭を終熄して中國を滅亡より救ひ、和平の時代を招來することである、しかし第一段階を完了した機會に私は諸君にお目にかゝつたわけである、諸君の中に重慶から除籍された余が尚且黨の名において行動を統裁する權利を有するかどうかに關し疑問を有せられる向もあるやうだが現に蔣介石自身一九二七年政府が武漢にあつた頃當時南京にゐた彼等は武漢政府が共產黨により實權を握られてゐることを口實に脫黨した事がある、その時彼等は別個の新政府を組織し大規模な清黨工作を行つたのである、武漢政府は彼を除籍し逮捕し出したが結局國民黨の國民政府も共產黨の非を認めて自ら共產分子の一掃をなし南京派と合作することゝなつたのであつた

次の年には今度余自身が蔣介石の獨裁に反對して追放され逮捕命令が發せられたが、余は北京に擴大黨大會を又廣東に臨時黨大會を開き蔣の獨裁反對を續けたが一九三一年に勃發した滿洲事變に依り余と蔣とは三度合作することゝなつた、以上によつても余の今回の行動が黨史上既に難解があつた例に倣ふものであることを理解されると思ふ、次に私は重大なる事實を諸君に述べやう、昨年四月國民黨緊急大會直後蔣介石は殊に眞實の和平交渉を秘かに行はしめるため當時外交部亞洲司長であつた高宗武を香港に密派した、此間何度となく日支双方に依つて和平の好機はあつたのであるが、其の度に蔣介石の心境の變化のため徒に機を逸したのである、余の今回の各種工作は蔣に依つて高宗武に命じられた線を繼承してなされたものである、然して余は其の後の折衝に依つて近衞聲明並びに余の和平建議が十分實現され得る確信を得た、第一段階は既に完了したが第二段階は現在進行中で未だ組織化するに至つてゐない

蒙古聯合自治政府

蒙古聯合自治政府生る　東亞に於ける新事態に即應して九月一日呱々の聲を擧げた蒙疆、察南、晋北蒙古聯盟自治政府統合、蒙古聯合自治政府の新政府旗は早くも制定せられ政府屋上にへんぽんと飜へり新看板と共に前途を祝福してゐる

歐洲戰爭を凝視して　滿洲の具眼者に訴ふ（中）

協和會　吉田直志

和平への運動

固より戰爭は回避すべきでない。爲さねばならぬ時がある。而もそれは容易に爲すべきではない。それは大義に立脚するを要する。大義とは天地の大義である。人類の大義である。この大地は人間が他の萬物と共に仲良く生活すべき臺場である。これを人間的にいへば人間は世界を共有せねばならぬのである。この共有は勞多くして功多くといふ資本主義的それではない。大小の形態が秩序と品質を齎らすといふことを意識せざるの階級打破の野蠻主義的それではない。謂ふならば「神ながらの」それである。日本的にいへば「一君萬民」のそれである。これが世界に對する人間でなければならぬ。これに反するとき大義を攪亂するとみて、即ち大義の危機として戰爭をせねばならぬ、これは道義の戰爭である。道義の戰爭は、その彼岸に於ては常に平和をもつものである。さればその道程に於て、否なその根幹に於ても人類の至福といふものを離れてゐないから無辜の民を傷つけざるを以て心掛けとする。

東亞にはいま和平の運動が起きてゐる。それは既に近衞聲明といふものがそれであつた。こゝに日本は自己の立場この戰爭が如何なるものであるべきかを表明したのである。抑々日本はその序戰に於て、自ら立つたのではなかつた。受けて立つたのである。已むを得ずであつたのである。識者はこゝに「膺懲の戰」といふものを容認すべきであらう。固よりこれは消極的小我的それである。然しこれはその發足に於てそれであつたし、又戰爭の道がこれでなくしては辯明することは不可能なのである。それはともあれ、近衞聲明以來、この聲明は中國の或る層に力强き反響を與へずには置かなかつた。

「新中國の道へ！」、蓋しこの道への心構へと實踐とは古への小國列立であるべきではない。遠交近攻の策略であつてはならぬのである。汪兆銘の顯起は、即ちこの時代的意味、從つてその内容は、かくの如く解釋せねばならず、又諒恕せねばならぬ、かくの如くとは何ぞ、かくの如くとは全亞細亞への道でなければならぬ。

こゝに最早や明確に言つてよいであらう。孫文は、その三民主義に於て、古への小國主義であつた。この點に於て買ふべきではない。然しその大亞細亞主義に於て、新中國主義であつた。この點に於て買ふべきである。即ちこのないとあるとで矛盾者であつた。この矛盾は時代から時代への轉換者の、等しく嘗めねばならぬ必然であり、課題だつたのである。この見地に於て、孫文はその課題を中途にしてその役割りを次代者へ讓渡したのである。その時代者を繼いだのが誰であるか、形式的には蔣介石といふべきであらうか、この僞物はそれ故に孫文の何たるかを知らなかつた中國が如何に行かねばならぬかを知らなかつた。實に中國の困難は、蔣介石を持つたといふことに於て、その絕頂に立つたといはねばならぬ。絕頂はやがて下落である。上りつむれば下るといふことは物の道理である。このことは中國の人々はよく理解するであらう。而してこれへの理解は容易であるであらう。これへの理解とは、この道理といふことを意味するが、實際的にいへば汪兆銘の和平運動である。

汪兆銘の和平運動が實際に於て何處まで進捗しつゝあるかを詮索するまでもないであらう、新聞の報ずる處によつて或程度までは判明したるやうに、今日に於ては殆ど全中國的といつてよいであらう。蔣介石の重慶政府丈けは反對であらう。けれどもそれとて瓦解することは豫想に難くないであらう。何故なら重慶政府の戰爭への勇氣は、第一に支那の民衆であつた、然るにその民衆からの信賴もなくなつた第二は西洋依存であつた。然るにその西洋は戰爭を始めてしまつた。何處に依存の途があらう。或は蘇聯にといふであらう。果してその蘇聯が何を如何に、如何なる方法で重慶政府を救濟するであらうかすべてのものには勢といふものがある。中國の民衆はいやていそしんでゐる。新中國への途に一つの勢を以つて對して重慶政府が果して何を爲しうるか。現狀維持はやがて現形すら止めず消滅せねばならぬことは必然である。

關東州現住人口

關東州廳調查＝七月末現在州内居住人口概要左の如し

七月末の關東州における總人口は一、二五〇、二四六人で前月に比し四〇〇人を減少し前年同月に比し三五、六五八人を增加した

	七月末	前年七月比增
内地人	一八四、五七一	六、四八〇
中國人	四、八一〇	四四三
滿洲人	一、〇五八、九五六	二八、六四〇
外國人	一、九〇九	九六
合計	一、二五〇、二四六	三五、六五八

これを男女別に分つと男は七一三、四六四人で總數の五割七分を占め女は五三六、七八二人で四割三分に當る、即ち男の女に增加すること一七六、六八二人で女一〇〇につき男一三二・九人に當る、これを國籍別に見ると滿洲人が最高率で一三七・一人、次いで内地人一一二・一人朝鮮人一一一・六人外國人一〇〇・九人の順位である、而して總人口を國籍別に見ると滿洲人最も多く一、〇五八、九五六人で總數の八割五分を占め次いで内地人一八四、五七一人（一割五分）朝鮮人四、八一〇人（〇分）外國人一、九〇九人（〇分）の順位である、これを前月に比すると朝鮮人のみ一二人（人口一千に付六三人）を增加したが滿洲人は三五七人（同〇分）を、内地人は一三六人（同一人）を、朝鮮人二八人（同六人）を夫々減少した、このうち大連市の人口は五四七、六五七人で總數の四割四分を示し、前月に比すると五一八人（人口一千に付一人）を增加、また前年同期に比すると三一、九一四人を增加した、而して大連市總人口を男女別に分つと男は三四五、三九六人（總數の六割三分）女は二〇二、二六一人（三割七分）で女一〇〇人に付男一七〇・七人の高率である

行政機構改革　政綱政策に明示

【東京國通】阿部首相は近く發表すべき新内閣政綱政策聲明中に現下の時局に鑑み行政機構改革に關する政府の所信を闡明し出來る限り機構改革の具體的方途を示したい意向でこの點に關し七日の閣議席上各閣僚の意向を徵したが、閣内においても組閣に當つて少數閣僚制を採用したる趣旨を更に强化する意味で農林、商工ならびに遞信、鐵道各省を統合すべきであるとの首相の意圖をこの際明示すべきであるとの意見が有力に行はれ首相の意向に贊意を示したので阿部首相は進んで省の廢合にまで進む行政機構の改革は多少の摩擦は生ずるも現下の時局に鑑みこの際これを强行せんとの決意を披瀝した、この結果近く發表の政綱聲明においては農林、商工及び遞信鐵道等各省廢合を具體的に揭げなくとも行政機構改革に關し相當積極的に政府の決意を表明するものと見られてゐる

對第三國貿易　弗建變更要なし　滿洲國政府當局の見解

去る五日イングランド銀行が磅の對米爲替レートを四弗二仙にフイックスしたのにも拘らず歐洲戰局の急速度の擴大につれ磅貨の先件不安は依然として解消されず、在滿有力銀行並に一部業者の中には在外正貨を弗で保有するのみならず對第三國輸出をも弗建となすべしとなす論が有力化しつゝある、これに對する政府當局の見解は英米クロッスが現在のまゝ死守される限りにおいては特に對第三國貿易を弗建てに變更する必要を認めずとなし、いまのところ事態の推移を靜觀しつゝあるが磅爲替の變動如何によつては直ちに應急措置を講ずべく萬遺憾なきを期してゐる

競馬　優勝レースを明日に　豪華な七日目　虎視眈々たる八十九頭

新京國立賽馬秋季第二次レースの最後を飾る後半競馬二日間は今日、明日の兩日に亘つて開催せらる

本季競馬は前期間を通じて雨馬場に禍され波瀾あるレースを豫想された前半競馬は比較的本命競馬となつて中半以後に多少の混戰を見せたる他に過ぎなかつた

雨馬場に盛る興味は依然としてこの二日に引繼がれることになつた、然し天候取戾せば馬場も相當良くならうから待望の穴へは兎も角今日は八十九頭といふ出走振りである

各レース共殘り少ない二日の鞍を狙つて白熱的熱戰を展開されようが今日の人氣の焦點となる呼物競馬は第四レース抽古一、八〇〇米の十三頭立ではなからうかこのレースは本年の春季抽籤馬甲組と古負馬の混合レースである、尤も故障馬となつて前季より休場して居るのもあるので玆に本レースの興味と云つたものがあらう、春抽の優駿として滿都ファンの記憶に殘る青燕等も久し振りに出場してゐるが故障の程度が何の程度迄回復して居るかである、愈々本季優勝競馬も明日に控へて前日競馬の盛況を期待される

勝馬豫想

▲第一秋抽　一、六〇〇米
- 二着　一　大泉　五八　梶原
- 二　豐年川　五一　岡野
- 三着　三　千利　五七　田部井
- 四　虎竹猿　五五　谷尾
- 五　第二金波　五五　清水
- 一着　六　金春　五九　上原口
- 穴　七　新生龍　五七　小川
- 八　瑞兆　五六　川本

▲第二抽古方變二、〇〇〇米
- 二着　一　華緋　五六　脇山
- 二　盤古　五八　甲斐（均）
- 三　新玉　五七　川本
- 穴　四　仙風　五七　甲斐（啓）
- 五　第二濱龍　五四　梶原
- 六　馳　五八　田部井
- 一着　七　惠祥　五七　久保田

▲第三抽占障碍二、二〇〇米
- 一　新松綠　五六　松尾
- 一着　二　大風　五九　甲斐（啓）
- 三　一貫　六一　田部井
- 穴　四　駒形　六四　池田
- 五　大光飛　六一　岡野

▲第四抽古　一、八〇〇米
- 一　玉日本　五六　脇山
- 二　勝登　五九　梶原
- 一着　三　第一麒麟　五四　池田
- 四　武駒　五八　田部井
- 五　青燕　六一　久保
- 穴　六　宏　五九　遠田
- 三着　七　新銳　五九　熊谷
- 八　磯千島　五六　川本
- 九　大常陸　五九　甲斐（均）
- 一〇　彪　五八　谷尾
- 一一　新發田　五六　甲斐（啓）
- 一二　甘王　六〇　田中
- 二着　一三　橫濱大勝　六〇　久保田

▲第五抽古　一、八〇〇米
- 一　濱龍　六二　梶原
- 一着　二　撫順天榮　六四　上原口
- 三　新宇治川　六〇　田中
- 四　博勝　六二　久保田
- 五　昭和　五六　熊谷
- 六　午久　六二　岡野
- 穴　七　宿禰　六四　田部井
- 二着　八　谷　六三　甲斐（均）
- 三着　九　第一光　六二　小川

▲第六秋抽　一、六〇〇米
- 一　世紀　五六　小川
- 穴　二　啓龍　五七　遠田
- 一着　三　新京一　五七　川本
- 四　燕駿　五六　落合
- 五　新壽　五四　熊谷
- 六　第二生花　五三　久保
- 二着　七　駛　五八　池田

▲第七外馬　一、八〇〇米
- 一着　一　日東福　五八　脇山
- 二　王震　五五　甲斐（啓）
- 穴　三　第一武藏　六〇　松尾
- 四　慶春　五五　田部井
- 二着　五　大連金東　五九　池田

▲第八抽古　一、八〇〇米
- 一　新旭　六二　上原口
- 一着　二　金嵐　六五　甲斐（啓）
- 三　朝日櫻　六七　池田
- 四　勝駒　六八　落合
- 五　菊香　五八　遠田
- 六　趙鵬程　六〇　小川
- 二着　七　相生　六〇　岡野
- 三着　八　飛仙　五七　甲斐（均）
- 九　伊呂波　六八　梶原
- 一〇　新勇　六三　松尾
- 穴　一一　保王武　五六　熊谷

▲第九抽古　二、〇〇〇米
- 一　武光　六〇　岡野
- 二　第二春花　六〇　久保
- 一着　三　足利　五七　田部井
- 二着　四　玄洋　六二　梶原
- 五　武勇　六六　松本
- 穴　六　榮生　六四　松尾
- 三着　七　堅城　六八　濱崎
- 八　睦月　六二　上原口

▲第十外馬方變二、〇〇〇米
- 穴　一　朝洋　五六　脇山
- 一着　二　撫順國光　六〇　上原口
- 三　雲祥　五六　池田

▲第十一抽古　二、〇〇〇米
- 一　紅燕　六五　久保
- 一着　二　華王　六七　甲斐（均）
- 三　奉天鮮勝　六八　久保田
- 四　撫順筑波　六三　上原口
- 三着　五　石洲　六三　田部井
- 六　新司　五九　梶原
- 二着　七　雲飛威登　五九　小川
- 八　公流　六一　落合
- 九　午長　六〇　岡本
- 穴　一〇　早姬　六四　松尾
- 一一　突撃　六〇　松尾

▲第十二外馬障碍二、二〇〇米
- 一　出輪　五八　松尾
- 一着　二　鯉瀧　五九　岡野

ブ號の浮標發見

【ニューヨーク六日發國通】米國沿岸警備隊は六日大西洋に臨むマサチユーセッツ州海岸においてドイツ汽船ブレーメン號の浮標二個を發見したブレーメン號が英海軍或はフランス海軍によつて拿捕されたと傳へられる折柄同船の運命が氣づかはれてゐる

白露ウクライナ兵の慘狀　波蘭捕虜語る

【ベルリン六日發國通】ドイツ軍の捕虜となつたウクライナ人及び白ロシヤ人は口々に彼等に對するポーランド軍の不平等待遇について不平を洩してゐる、彼等の陳述するところによれば、ポーランド赤十字はポーランド人の負傷者に對しては手當をするが、ウクライナ人或は白ロシア人負傷者に對しては治療をせず放置したまゝにして置くと言つた有樣である（D・N・B）

獸醫訓練所指定

產業部では八日同部佈告を以て獸醫師たらんとする者の中外國獸醫學校卒業生及び外國に於て獸醫師の認許を受けたる者の訓練所を中央農事訓練所奉天分所に指定、即日實施した

平沼前首相等前官禮遇

【東京國通】畏き邊りでは六日平沼前首相はじめ米内、荒木、有田、前田、鹽野の前閣僚に對し、在任中の功績を嘉せられ、特に前官の禮遇を賜ふ旨御沙汰あらせられた

松岡三雄氏日本へ出張

新京郵政管理局副局長松岡三雄氏は十二日午後六時五十分發のぞみで朝鮮經由日本内地へ出張することになつた、期間は約四十日の豫定

商況　八日後場

各地株式市況

●大連株式（短期）　寄付　大引

●奉天株式（短期）　寄付　大引

（銘柄：五品、大新、新東、滿業、鐘紡、同新、滿鐵、滿豆ほか　數字判讀困難）

手形交換高（八日）

六四四枚　三二二、八二一圓四七錢

協和欄

綱領

滿洲帝國協和會は唯一永久、擧國一致の實踐組織體として政府と表裏一體となり
一、建國精神を顯揚し
一、民族協和を實現し
一、國民生活を向上し
一、宣德達情を徹底し
一、國民動員を完成し
以て建國理想の實現、道義世界の創建を期す

協和會問答

精神的組織體としての協和會
協和精神とは何か (七)

問 協和精神と建國精神とはどう言ふ關係に立つて居りますか。

答 建國精神の內には協和精神が含まれて居ります。世界の多くの國々が誤つた思想に禍され人類の踏むべき道を踏み外し腐敗墮落し互に鬪爭し、類をして道德的破滅に至らせる危險に瀕して居る。特に民族と民族との鬪爭は激烈を極め世界大戰の後は民族自決と云つて民族別に國家を作つて見たものの、却つて不安な情勢を作り、歐洲の天地には常に險惡な空氣が漂つて居る殊に建國前の滿洲は軍閥の惡政の下にあり、貪官汚吏と匪賊が跋扈し道義は地に墮ち賄賂は公行し、政治も腐敗して人民は塗炭の苦しみに陷り、諸民族は互に抗爭し平和な日なく、不義不正と暗黑とが此の地を覆つて居た。此の不義不正を打挫き黑暗の地に光明をもたらし、貪官汚吏と匪賊とを一掃し、諸民族協和して正しく明るく樂しい社會即ち道義世界を作り上げる目的を以て滿洲國は建てられたのです。だから民族協和と云ふことが建國精神の中心です。そして民族協和の核心は協和精神です。此の精神は我國に於て之を具現し其の實をげ、世界に範を示し全人類に推し及ぼさなければならぬのです。

問 分りました。簡單に先程來のお話をまとめて頂けませんか

答 まとめるとかうなります 協和精神とは道義世界の建設、民族協和の實現、獨創的王道政治の實踐を貫きその根底に存する理念であり人の親和的性質を發揚し爭鬪的本能を抑制し、人々相協力して價値の創造をなす事に依り、國體的完成を期するを云ふ。之を解り易く云へば皆仲良くして力を合せ、良い世の中を創つて行かうと云ふのです

問 協和會は政治的組織體だと云ふことを聞きますが、之はどう云ふことですか

答 先づ協和精神に依る政治と云ふことからお話し致しませう。協和精神が我滿洲國の根本精神の一である以上、政治も亦この精神から出たものでなければなりません。つまり共產黨の樣な鬪爭理論の上に立つものではいけないし、又國內に二つも三つも政黨があつて、之が相對立抗爭して政治を行つて行くと云ふのも協和精神に合はない。又一個の人間の獨斷專行で國を治めると云ふのは勿論いけないのです。

問 すると協和精神に依る政治と云ふのはどんなものですか。

答 例をとつてお話しませう。今十人の人が團體を作つて旅行に出かけたとする一人は團長であつて全員を導いて行く。一人は會計係だとする。今晚はどんな宿屋に泊らうかと云ふ話が出た時、團員の一人は洋式のホテルに泊らうと云ふ、他の一人は支那式の飯店に泊らうと云ふ。そこで世話係は洋式のホテルの方が泊り心地がよいからそちらにしようと主張し、會計係はそれでは費用がかかつて堪らないから支那式の飯店にしようと主張する。その爲團員は二派に分れて相爭ふ、團長は手の下しやうがない双方讓らず意見を主張し合つて爭つた結果、とうとう夜が更けてしまつて宿屋に泊ることが出來ず、一同野宿してしまふ。之が鬪爭理論に基く政治のやり方です

問 つまり共產主義の政治はそんなものですか。

答 鬪爭、鬪爭で進めばかうなつてしまふ譯です。そこで次の黨派政治を今の例にとつてお話しするとかう云ふことになる。十人の團體は西洋式ホテル派と支那式飯店派の二黨に分裂して相爭ふ。こゝに於て團長は投票により孰れにするかを決めようと云ふ。そこで投票が始まる。四票は洋式ホテル、四票は支那式飯店、一票は棄權と云ふことはなる。團長はまだ投票してない。そこで團長は西洋ホテル論に一票を投ずる。さうなると西洋ホテル派は一票の差で勝となる。その結果十人の人々は西洋ホテルに泊ることになる。支那式飯店を主張した會計係以下四人の者は頗る不平である。その爲旅行團の感情が面白く行かない。次第に感情の疎隔が起り、日的地迄行かぬうちに團體は解散と云ふことになる。まあこんなものです。

全聯協議會へ提出の諮問事項決定
委員會に附託して回答

康德六年度全國聯合協議會は來る三十日より八日間の會期を以て開會されることゝなつたが同會に提出さるべき協和會中央本部並に政府側の諮問事項は左の如く決定、いづれも開催後委員會に附託して回答されることゝなつた

△中央本部
一、物資の買溜め、賣惜しみ並に惡家主の暴利に對する實行容易にして且つ效果的なる社會的、道義的制裁方法如何
一、我國婦女子の勤務に對する左記事項につき意見を問ふ
(イ)勤勞精神涵養
(ロ)勞働せしむべき部面及び方法
一、分會活動に關す件

△產業部
一、農事合作社に關する件
一、肥料問題に關する件

△司法部
一、律師及び司法代書人に關する件

△交通部
一、鐵道愛護精神促進に關する件
一、道路愛護精神涵養に關する件

△民生部
一、阿片及び麻藥斷禁に關する件
一、國民敎擴育充に關する地方協力方に關する件

△治安部
一、國民服役制に關する件

石炭問題對議
首聯處理第三部幹事會開く

冬を目前に控へて石炭の需要問題は全滿住民焦眉の問題である、この石炭問題の解決に對し協和會首都本部では首聯議案處理第三部幹事會を八日午後一時半から本部會議室で開催
幹事長代理大原首都本部委員、村川市公署衞生處長、森田首都警察廳警務科長、磯野日滿商事新京支店長、高瀨滿炭研究處長、寺中日本橋富士分會長、相原首都總務科長主席
左記議案を協議檢討

(一)石炭の需給量に關する事項、1昨年度に於ける配給量と需要量との關係「日滿商事」2本年度に於ける配給豫定量と需要豫定量との關係「日滿商事、滿炭、產業部」

(二)消費節約に關する事項 1採煖期間の短縮に就て「日滿商事、需品局、分會側其他」2燃燒法の合理化に就て「市公署、工鑛技術院首警其他」3低溫生活の提唱とこれが勵行方法に就て「分會側、日滿商事、市公署其他」

(三)石炭配給の合理化に關する事項、1配給機構の調整に就て「日滿商事、分會側」2買溜、賣惜みに對する取締に就て「首警」

朝鮮人特設部隊の後援會を組織
三十萬圓を目標に基金募集

王道國家防衛の大旆を掲げて昨年十二月全滿に魁けて編成された間島省朝鮮人特設部隊はその後各縣より優秀なる青年を入隊させ連日猛訓練を施してゐるが、朝鮮に於ける志願兵にも對比さるべき好成績を擧げ、去る四月七日以來安圖縣の開拓部落をはじめ和龍汪淸の各縣で匪賊討伐に赫々たる武勳を現はしてゐるが右特設部隊に對する朝鮮人のみよりなる後援團體のなきを遺憾となしこの程間島省の朝鮮人よりなる社會事業團體たる間島儒林聯合會を中心として右後援會を組織せんとする議が纒り本年中省內より卅萬圓を目標に基金募集を行ふことゝなつた

吉林敎化關係者懇談會

吉林省では敎化運動强化のため九月二十一、二十二の兩日省公署に於て省內敎化關係者の懇談會を開くが出席者は縣職員(敎化關係)一名及び敎化團代表二名
協議事項は
一、敎化團體の活動範圍
一、敎化網の完成及組織體系如何
一、敎化運動に地方有力者を參加せしめる方法如何

吉林省集團開拓團 現地で懇談會
成果各方面から期待さる

現實に即したものとして期待さる吉林省では省下各集團開拓團の團長外一名を集め他團の建設狀況を視察し相互に忌憚ない意見の交換を行ひ以てその長を採り自團の建設理想に資すると共に各機關との懇談も兼ねて大體九月二十一日及び二十三、四日頃二回に亘り磐石縣牛心頂子の第七次煙筒山開拓團、舒蘭縣四家房の第七次大日向村開拓團の兩地現地開拓團長懇談會を開く事になつた、これに對し各機關としては拓植委員會、開拓總局、省縣公署、滿拓、協和會、省本部も參加しその地區內の分村豫定地、建設狀況を視察し後懇談する事になつてゐるが、從來の現地を離れて机の上のみの懇談ではなく實際に見て實際を語る懇談會だけにその成果は大いに期待されてゐる

安圖縣治安工作の人柱
小川原氏等省葬

先月廿四日安圖縣治安工作の人柱となつて殪れた省公署小川原時治、田代一美、野尻昌雄の三技士及び省雇員慈聖璋同李在淸等の五氏合同葬は省葬を以て縣[illegible]る七日午後二時より新富劇場に於て執行された

產業經濟對策懇談會

歐洲に於ける戰亂の擴大は滿洲國諸般の產業經濟計畫に多大の影響を及ぼすものと豫想されるが今日の所戰亂の歸趨は全く逆睹し難くさりとて情勢監視に名を藉りて之が應急對策の樹立を遷延せんか目下進行中の建設工作に一頓挫を來すやも圖られず、この急激なる經濟的變動に對應して我が國產業經濟計畫の全面に亘つて再檢討をなし、當面の善後處置はもとより今後の建設工作實行に關する根本的方策を確立するは刻下緊喫の要務なるに鑑み政府は之が對策樹立の第一步として各方面の意向を綜合するため經濟部より松田次長、靑木金融司長、隱岐貿易、石渡爲替兩科長、產業部より柏村次長、高崎工務、風早鑛山兩司長、石田物資調査科長、企畫處より神田處長、横山、內田、馬柳各參事官、滿業より吉野副總裁、田中、世良兩理事、關東軍より秋丸中佐、小島少佐等參集、午後二時より中銀クラブに於て主として爲替物動計畫を中心とする懇談會を開催種々重要意見の交換を遂げた、仍てこの意見交換の結果を基礎として滿洲國政府に於て日本政府と折衝の上物資、爲替に對する應急的措置並に恒久的對策が樹立されこれに基いて生產力擴充計畫その他各般の經濟政策の再檢討、樹直しとなるべく各種の動亂見透しを基礎とした政府の早急なる對策樹立が要望されてゐる

協和會全國聯合協議會について

中央本部 上田知作

本日「政策の時間」を利用しまして、本年度開催全國聯合協議會に就きまして各級本部役、職員及代表各位にお話致し度いと存じます。猶『會運動と全聯』『本年度全聯の特質』等につきましては本月十四日及二十八日の兩日に亘り(會長)中央本部長及總務部長(實踐部長)より夫々お話がありますので、當日は是非「マイク」を通じ御留意を願ひたいのであります
× × ×

本年度全國聯合協議會は九月三十日から八日間中央本部講堂に於て開催と決定しました參加代表百七名、うち滿系百六、日系四十名、鮮系十六名蒙系四名で猶興安北省より四名を加へる豫定であります。年齡は昨年より十歲若く平均卅三歲でありまして少壯代表で迎へ得たのであります。昨年度舊代表は四十二名で百卅四名は新代表でありまして玆に國民的啓蒙の意義を有するのであります。これを出身別に見れば官吏は減少し公吏が增加し漸次開拓指導員及會社員等も增加しつゝあります。提出議案は興安北省を除き二百卅一件であります第一回整理は本年度の新しい試みとして會綱領たる「建國精神の徹底」「民族協和の實現」「國民生活の向上」「國民動員の完成」等に分類するため必要なる範圍に於て議案の分類又は配合を致したのであります
× × ×

第二回整理は政府及各機關より委囑しました委員及幹事百五十名を五部に分ちまして五日間に亘り愼重審議の結果上程六〇件、文書回答九十件、却下四件と整理致したのであります。猶昨年度事後處理は右の委員及幹事會により一ケ月余に亘り本年度議案を考慮しつゝ最後の打合せを了したのであります。

第二回整理に於きましては全國的に普遍性を有するもの、地方的問題なるも特に國民生活に重要なる影響を有するもの、國策遂行上並會運動進展上特に上程審議を必要とするもの等を上程議案に採擇致したのであります。昨年度は日程に比し議案多數に上り協議の時間極めて少なく代表は勿論當局に於ても充分なる意を盡し得なかつたので本年度は日程と議案を考慮し一日平均四、五件を豫想致しまして、第三、第四回の代表參加に依る議案整理により六十件を更に二十件乃至三十件程度に整理するの必要を痛感するものであります。
× × ×

次に第二回整理に依る上程議案は目下印刷中でありまして十日付を以て各省本部宛に代表、其他必要數を一括し送付の豫定であります。省本部及代表各位は議案の內容を充分研究せられまして各級本部委員會又は幹事會に於て更に檢討を加へ理由、辨法、縣聯省聯に於ける總答及前年度類似議案の比較等を一括考慮せられまして必要なる資料又は參考書類を充分に取揃へられ度いのであります。特に各級本部入代表を各省本部に召集せられ上程議案の責任者、說明者及質問順序等につき充分連絡打合せを願ひ度いのであります。次に本年度全聯に提出の諮問事項は十一件であります。
× × ×

これが重要なるものは「分會活動の促進に關するもの」「適正物價維持協力に關するもの」「國民總服役制促進に關するもの」「農事合作社の運營に關するもの」「敎育振興協力に關するもの」等でありますす。諮問事項は一括印刷中でありまして八日付を以て代表其他必要數を各省本部に送付の豫定であります。特に本年度は民意の正確詳細なる暢達を期してゐるますので代表各位の現地適切なる意見は省本部に於て一括せられ各省別に回答の素案を持參せられ度いのであります。
× × ×

以上は議案及諮問事項に關する希望でありますが本年度は分會活動に關するもの、敎育と會運動に關するもの、協和會と國家基本法に關するもの生活必要物資及物價に關するもの、中小商工業者に關するもの。生活必需品會社及消費組合に關するもの等は議論の中心と存じます。即ち會運動の理論と實行に關するもの、統制經濟に依る生產及配給機構の批判等は之等議案の重點かと存じます。各級本部及代表各位は施政の精神を味得し正しき民意を施政に反映し所謂協和の治政を確立すべく愼重なる準備と研究を切望するものであります。猶二十一日は會議日程、參會者注意及議事進行等に就き放送致しますので御留意を願ひます。

家庭

玉蜀黍の皮から纖維 早速草履裏に利用する

山形縣最上郡新庄町積雪地方農村經濟調査所の森本技手は從來捨てられてゐた玉蜀黍の皮から代用纖維をとることに成功した、草履裏の産地として聞える山形縣が麻裏代用に困つてゐる折柄でもあり、思はぬ快報に業者は勿論各方面から期待され試驗の結果は耐久力あり、製品は高級なものが見事出來上つてゐる、しかもこの製造は至つて簡單で夏中乾燥し多期間農家の副業としてやれるので、積雪地方には好適な副業として將來は草履裏でなく利用方法を考究して原料は更に廣漠たる大陸の玉蜀黍畑にも着目されるに至つた

一つ覺えの偏食は危い

秋の食慾の注意

要求してゐる證據だとはすぐにいへないのです、いひかへますと、例外は除いて食慾と榮養とは必ずしも一致した身體の要求ではないのです、食慾とは空腹感、胃の中にものがない時に起ります、これを滿たすには、胃の中へものを詰めればいゝので、昔から茶腹も一ときといふ言葉があるやうに、何でもかんでも胃が滿されゝばそれで一應は空腹感は解消される事になりますこれに對して人體がほんたうに要求するのは、蛋白質、含水炭素、ビタミン、無機質等で、これらを適當に攝る事によつてこそ榮養が保たれていくワケです、しかしこゝで一般に誤つた觀念をもたれてゐるのは脚氣にはビタミンB、夜盲症には鰻や肝油がよいといふ風に、何か世間でよいといふ榮養法を

莫迦の一つ覺えのやうに盲信して偏食することです、これでは

他の足りない榮養でまたほかに惡いところを作ることになりますから、夏季の榮養不足から何か特別な症状をおこした人は、それに適した榮養を一定の期間とつたら早く平常に復しなければなりません、お腹の空く秋も、お腹の空かぬ夏も、人間の體の要求する榮養は大した相違はないことをよく考へて食べ過ぎて、お腹をこはし、徒らに天のみ高くして人痩せるを喞たぬやうにご用心が第一です

氣温も濕度も高い夏は身體の新陳代謝がにぶつて食慾不振をきたしますが、天高く爽涼の秋ともなれば氣温は快適、濕度もくだつて新陳代謝は旺盛に、從つてこゝに食慾の秋を迎へます、こゝで一番注意しなければならない點は、食へ過ぎです、暑い間を食慾不振にすごした人々は、秋になると夏の榮養を取戻す氣持からお腹の空くのを幸ひにむやみに貪べる傾向がありますがこれは明かに誤つた方法です毎日の榮養の効果といふものは大體一ヶ月から二ヶ月ぐらゐたつて現れてくるものですから、ちやうど盛夏の頃の

榮養不足は 秋の初め頃に目立つて

るくわけです、身體の弱つた從つて胃腸の機能もまだ十分でないその頃に食慾にまかせて暴食することは、まるで疲馬に鞭打つやうなもので、お腹こはしに拍車をかける結果になり勝ちです、だから秋になつてお腹が空くのは、秋になると身體がとくに榮養物を

家庭メモ

婦人靴の汚れ

色の薄い婦人靴の汚れは注意して手入しないと取返へしのつかないことになります、普通揮發油やベンヂンで拭く人が多いやうですけれど、それよりもバナナやオレンヂを召し上つた後の皮を利用なさつた方がずつとよろしいです、これで靜かにこすりますと汚れは落ちますし、色が格別はげることもありません、男物の薄色も同樣に手入れします

誰にでも喜ばれる 鰯の頂き方

鰯のおきらひな方も喜んで召し上れる頂き方をおしらせしませう

▲鰯の蒲燒　鰯はひらいて腸と中骨をとり、メリケン粉を薄くまぶしつけて煮立つた油で揚げます、次にフライ鍋に醬油と砂糖を入れ一と煮立ちしたら鰯を入れて兩面を燒きます

▲鰯の醬油干　鰯の頭をとり、さ皆開きにして腸をとり、さつと水洗ひし、醬油七、味淋三の中に一晝夜ひたし、取出して二日かげ干しにして頂きます

紳士の作法

食堂で給仕を呼ぶ時は

食堂で給仕を呼ぶ時は、大聲で姐さんとかオイと呼んだり、中には食器やナイフの柄で卓を叩いたりする人が仲々多いがこれがいかにも亂暴だつたりすると、傍から見ても見苦しいし、給仕にも不快の念を與へます、押ベルが卓上にない時は「一寸」と呼びとめるか、又は給仕がこちらを向いた時に手で合圖をすればよいのです

世渡り足の裏表

下級俸給取など尻目にかけて 月收百二三十圓

馬車夫の生活解剖（二）

馬車二千六百六十二台中五分ノ三の千六百台までは馬車夫自身のものではない、主として滿人の資本主が持つてゐて馬車夫を月給で傭ひ、また賃借しをしてゐるのである、一人で三台以上の馬車を持つてゐる資本主は六十名、二台持ちが二百四十四名、一台持ちが一千六百一名で一台持ちのうち馬車夫自身が主を兼ねてゐる百姓の自作農に比すべきものは僅かに四百名を出でない、もつとも馬だけ

自己の所有 で車台だけを借りてゐるものが六百名ほどある最大多數を占めてゐる雇傭馬車夫は九圓から十一圓までの給料で資本主の家に住み込む勿論食費は資本主持ちで衣類も防水蓆程度のものは支給される、彼等の一日の勞働時間は大體十時間とみられてゐる

稼ぎ高は日によつて相異はあるが四圓から五圓までの間とみたら大體間違ひがない、住み込み馬車夫はその稼ぎ高から三圓五十錢を資本主におさめることになつてゐる、そこに五十錢から一圓位までの金を掴ばやきめてゐることになる、不合理と言へば言へるこの間の

金錢授受は 不文律となつてゐ て、これで問題を釀すと言ふ樣なことは殆んどない、馬だけ持つてゐて車台を借る組は月極め十八圓乃至二十圓で借る、一日一人の使用時間は十時間と限定されてゐるので大概二人以上が共同で借り、遊ばせて置く時間を少くするよう經濟法則を有効に利用する馬の一日の飼料は一圓前後であるから三十日休みなしに働くとして一ヶ月の稼ぎ高は百二、三十圓、そのうち馬飼養料並びに馬車借用料を差し引いても七、八十圓となるから下級サラリーマン羨望への景氣であるが、勞働が激しいのと怠惰のため休む日は多いし、馬車の修繕費等の自辨であるため、必ず數字通りにうまくゆくとはきまつてゐない

彼等の住居 は寛城子散歩闘、四道街、南關が主で壓しひしがれた樣な低い屋根の下に住む、家賃は附屬する厩を入れ五圓前後と言ふところ、妻子二人の一家四人の生活費は家賃をこめて最低三十圓はかゝる、內地の貧農や渡り鳥の苦力の一ヶ月の生活費十五圓に比較すると遙かに彼等は生活程度が高い譯だ

◇―――◇

これだけの概念を頭に入れて置いてさて街頭に出て一人の馬車夫をとらへよう「馬車」と呼べば飛んで來る――と言つたのは一、二年前のこと、聲をからして呼んでもそれが女性の玉をころがすソプラノでない限り、まづ〳〵近寄つてこないものときめるのが無難など「ナーベン?」と凡そ愛嬌のない尖つた口調を我慢して一問一答を試みよう「ナアーンダ」と言ふやうな顔で汚れた胸をはだけ足を八の字にひらいて鞭を持つて突つ立つた姿は考へやうによれば可愛いものでもある

問……生れは?
答……山東省……縣

問……年は?
答……三十二才

問……家族は
答……妻と小孩二人

問……馬車夫になつてから何年か
答……六年、それまでは山東省で百姓をしてゐた、二十二才で渡滿して四年間苦力として、働きそれから馬車夫になつた（こゝまではすら〳〵と笑へる）

問……一日の收入は
答……二圓位（此の答はいさゝか躊躇の後ニヤ〳〵と笑ひながら答へる、一圓少く言つてゐることは事實である）

問……車は自分のものか
答……いや馬だけ自分のもので車は借りてゐる

問……一ヶ月の生活費は
答……一日一圓五十錢位（この答も餘程考へて揚句である）

問……學歴は
答……初等學校三年まで（これは意外であつたが、調査の結果彼等の半數二千名以上が公學校二三年修業者であり、そのうちの五百名以上は初等學校四年卒業生である）

問……日本語は解るのか
答……解らない

（これは殆んど全部の答へである）

問……今と昔とどつちが良いか
答……今の方がいゝ、第一景氣が違ふ

問……何が一番辛いか?
答……金のない時だ

問……樂しい時は
答……（にや〳〵笑つて答へない）

問……貯金は
答……一文もない、現在の生活が一杯一杯である（獨身者の場合は勿論然り）

問……娛樂は
答……（笑つて答へない、誘導訊問の結果賭博だと白狀す獨身者は勇敢に平康里と答へる）

問……日支事變をどう思ふかノモンハン事件は?
――これ等の問に對しては「知らない、全然知らない」と頑強に口を噤む）

◇―――◇

彼等のうちの半が初等學校二三年修業者であることは苦力と異る重要な差である、五百余名が「實話報」の讀者であるのも興味深い

けふの番組

［MTOY 新京放送局］九日（土曜日）

※朝※

六、〇〇（新新）國體操
六、一八（大連）入港船のお知らせ
六、二〇（東京）ニュース
六、三〇（大連）中等滿洲語講座
六、五五（大連）朝の修養　聖德太子の御偉業（上）　秩父固太郎
七、二〇（大連）朝の音樂（レコード）　森本米一
管絃樂
一、歌劇「ペーターンシュモール」序曲（ウエーバー作曲）
二、アルルの女　第一組曲（ビゼー作曲）
八、二五（新京）建國體操
九、〇五（東京）經濟市況
九、一〇（新京）殉職警官合同慰靈祭實况＝新京大同公園祭場より

中繼＝擔當アナウンサー　荒井正道
一〇、〇五（新京）東京經濟市況（錄音）
引續き（大、新）經濟市況
一〇、二五（新京）家庭の時間
國境警備の話　岩澤博
一〇、四五（奉天）家庭メモ
一〇、五〇（奉天）料理獻立
一一、二五（大連）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

※晝※

ラヂオの御用は　東京無線

〇、〇一（哈爾濱）晝の演藝
室內管絃樂
哈爾濱放送室內管絃樂團

一、交響曲　第四番より「アンダンテ」　チャイコフスキ作曲
二、歌劇「イゴル公」より　ボロベニヤ人の踊り　ボロジン作曲
〇、二〇（大連）童謠（講談社提供キングレコード）　オセチヤバコ　桑原豆歌手隊
〇、三〇（東、新）ニュース
一、〇〇（大、新）經濟市況
四、〇〇（東、新）ニュース
五、二〇（奉天）ニュース
「鮮語」

※夜※

六、〇〇（東京）子供の時間　うたのおけいこ（一）
（奉天）演藝「鮮語」
早起早太郎　武內俊子作詞　澤村光陽作曲　菊池綾子
六、二〇（大連）コドモの新聞
六、二五（哈爾濱）初等ロシア語講座
七、〇〇（東、新）ニュース　（新京）告知事項、今晩の番組　櫻木新吾

警察官慰安の夕

七、三〇（新京）合唱　警察歌　柳沼丈夫作詞　大塚淳作曲　警務司合唱團　ピアノ伴奏　石川和子
七、三五（新京）講演　殉職警察官慰靈祭に當りて　治安部次長　薄田美朝
七、四五（大連）挨拶　お巡りさん有難う　大連下藤小學校　加納友子
（奉天）挨拶　奉天普通學校　金知復
（哈爾濱）警察官有難う
七、五五（新京）琵琶　敦化四烈士　柳井正夫作　泉旭春
ドミトリエフスカヤ
八、一五（新京）ラヂオドラマ　黎明曙光　荒牧芳郎作
岡參事官　藤川研一
田中警務指導官　岡田壽之
縣長　關保二
警務局長　內山吾郎
張警長　大濱龍三
劉　金田喬
王鐵梅　淺井龍太郎
苗國秀
鍛冶屋　芦田義雄　他大勢
解說　新田實
演出　荒牧芳郎
八、四五（新京）吹奏樂　新京軍樂隊
指揮樂長　山田慶藏
一、哀悼曲「慰安する」陸軍々樂隊編曲
二、圓舞曲「山村の風景」チュイリーヌ作曲
三、行進曲「秋季行軍」
九、〇〇（新京）浪花節＝新京帝都キネマより中繼＝　次郎長傳の內　三下奴　廣澤虎造
九、三九（東京）時報ニュース、ニュース解說
（新京）ニュース、告知事項、明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

警察官慰安の夕

滿洲國警察歌

（午後七・三〇）
作詞　八木沼丈夫
作曲　大塚淳
警察司合唱團
ピアノ伴奏　石川和子

一
東に昇る太陽に
光りは映ゆる滿蒙の
民族あひ寄りあひ結ぶ
久遠の樂土建設の
護りの責を負ひてたつ
警友十萬相和し起てば
歡聲あがる三千萬

二
正義と愛の炬を翳し
射す諸々の陰影除き
民衆を導きその幸に
不眠不休の晝と夜
撓まぬ此の身此の心
警友十萬相呼び起てば
世に光りあり三千萬

三
山また山を越えてきて
密林ふかし討匪陣
襟毛の氷柱拂ひつゝ
篝火を圍みあひ誓ふ
追ひ討て地の極みまで
警友十萬奮ひて起てば
治安は安し三千萬

四
高粱畑風そよぎ
月雫する夜を深く
村里遠き犬の聲
防犯捜査はた警邏
水も漏らさぬ警備陣
警友十萬擧りて起てば
眠りは安し三千萬

五
至誠護國の一念に
右手に握れる破邪の劍
左手に民を撫育して
皇威あまねく地に布かむ
選ばれし者あゝ警察官
警友十萬道義に起てば
國昌榮あり三千萬

琵琶　敦化の四烈士

（午後七・五五）
柳井正夫作
泉旭春

一
蘭花の一り寢都と咲くや新興大滿洲あまねく照らす王道の光りに浴し國民は熙々カウカウと春豪に登る思ひに競ひ立つ平和の樂土榮あれや

さても吉林省下の匪賊ども漸く王土に覺醒けん推腎、金得範の二頭目歸順の意志は動きけりこの旨諜報ありければその罪を憎みて人を憎まずとはこれ王道の大精神いざ速に良民と化せんと協議定まりぬさて折衝の重任帶びたるは吉林省にその人ありと知られたる警備科長西瀬戸秀夫を始めとし三ヶ鳥敦化縣副縣長永田、福田の二警正選ばれたりし四烈士は互ひに決死、大任を果さんものと誓ひつゝ匪首と約せる會見地敦化縣下平安村にぞ赴きける

二
頃しも小夏の末つかた樹々生ひ茂り草深く熊の伏すてふ谷間や鷹の舞ひ飛ぶ嶺々や山また山を分け入りてやうやく着きし匪首の陣四烈士威儀を正しつゝ諄々として說けるやうそれ滿洲國は建國はやも八星霜申すも畏きことながら上に英明なる君を戴き道義仁愛、五族協和を國是とし國防、警備全くして世界に類なき樂土なり汝等王化に浴せずして匪賊となりて天翔り地に潜むとも遁れ得じ早や早や良民に立ちかへり甦生、安住をば圖れかし眞心面に表して血涙下る勸告に欣喜歸順を誓ふと思ひきや順迷不屄、不信無道の輩ども

三
われを寡少とあなどりてか突如、刄を向けてぞ來りけりさては欺きしよな天地も容れぬ不信の徒さらば來れ、大和男兒は柔とみて退く如き儒夫はなしこの胸を見よ、この膽を見よ一人あまさずセン滅ぞ覺悟定めし四烈士は敢然、大地を蹴つて起ち上り父祖傳來の日本刀拔く手も見せず數名を斬つて落すや匪首めがけ躍りかゝれる豪勇さ鬼神も避くるばかりなりされど、あゝ無念なるかな衆寡は遂に物ならず互ひに必死と闘へど味方は四名、匪は數百肉彈火玉と化すれども嵐の庭の櫻花大和心の男々しくも散りてぞ名をば止めけり時惟れ康德六年六月二十四日

ラヂオドラマ「黎明曙光」

（午後八・一五）
荒牧芳郎作

配役
岡參事官　藤川研一
田中警務指導官　岡田壽之
縣長　關保二
警務局長　內山吾郎
張警長　大濱龍三
劉　金田喬
王鐵梅　淺井龍太郎
苗國秀　芦田義雄
鍛冶屋　金井武二
外大ぜい
解說　新田實
演出　荒牧芳郎

（梗概）滿洲建國日尚は淺き頃、中央を遠く離れたとある縣下は、未だ不逞匪賊の徒橫行して物情騷然たる狀態であつた、少數の縣公安隊では到底は、縣長はじめ警務局長等これを討伐出來ないとし、國軍の力を借りて一擧に潰滅する計畫を立たが、參事官岡のみはこの徹底的討伐によつて蒙る民衆の被害等を考へ匪賊の歸順說を主張した、そして部下數千名を有する最も有力なる匪首王鐵梅を先づ歸順せしむべく、部下の田中警務指導官をして、彼に歸順の意志あるや否やを探ぐらせた田中は苦心の末、王鐵梅に歸順の意志あることを確め得たが、不幸王鐵梅の背心の部下苗國秀の襲擊を受け、多くの忠實なる部下と共に悲慘なる最後を遂げなければならなかつたが、部下の張警長のみは辛うじて生還し、岡に王鐵梅歸順の意志ありの報告をした

岡は國軍の出動に對して三日の猶餘を得て、單身死を決して王鐵梅に會見すべく彼の根據龍王廟に出發した、そして、彼の熱意は報いられ王鐵梅に會見し、諄々滿洲建國の大義を說き遂に彼をして歸順を誓はしめる事が出來た、然し苗國秀ょまたまたこれを喜ばず卑怯にも岡を欺むき殺してしまつた、これを知つた王鐵梅は直ちに苗國秀を射殺して、岡の遺骸に向つて部下の不信をわびると共に、折から追擊し來つた國軍の前に起ち上つて、部下には反抗するな歸順せよと叫びながら、自らは從容と岡の遺骸を抱いて死んで行くのであつた

日
英魂こゝに消ゆれども
勳は永久に朽ちるなし
あゝ壯烈、職に殉ぜし四烈士こそ
げに警察官の華なれや
警察官の華なれや

浪花節

（午後九・〇〇）
＝帝都キネマより中繼＝
次郎長傳の內　三下奴
廣澤虎造

學藝

戲曲

日出 (七)

曹禺 作
大內隆雄 譯

福 だまつてゐらつしやい(じつと耳をすまし)あいつらが來ましたよ。

小娘 (聲を失ひ)あゝ、お孃樣!

露 (しつかり彼女の手を握り)あんただまつといで、若し聲を出したら私追ひ出すわよ。

小娘 (啞みたいに)え、お孃樣、判りました。

露 (低聲に)だまつて一寸聽いて。

外で男甲の聲 (荒々しく)あの死に損ひ奴、畜生、何處まで人を惱ますのか、田舍者つて奴は本當に仕樣がねえ。

外で女の聲 (鋭い尖つた聲)あの金八爺を怪がつてあの娘は逃げ出したんだよ。

外で男乙の聲 (ゆつくりと低く)何だ、金八があの娘に惚れたのか?

外で女の聲 だから福の神が來たといふもんだよ。でもあの娘がわからず屋で、逃げ出しちまつたのさ、一體どうしたらいゝのか、ねえ

外で男甲の聲 (うるささうに、女に向つて吼えるやうに)畜生、娘は逃げ出す、お前がよく見て居らんからだ今になつてそんな事言つたつて何になるか(女はだまつてゐる)おい、老三あの娘まだ外には逃げ出すまいな?

外で男乙の聲 (老三は、地廻りの中でも智慧がある方だゆつくり自信ありげに)そんな事はねえ、そんな事はねえ、あの娘はお袋の服を着て行つたんだ、それに薄い上衣きりだ、こんな寒さに何處に行けるものか!

外で女の聲 (甲の歡心を買はうとして、わざと口を入れる)さうだよね、あの娘は私の服を着て行つたんですよ、何處へ行けるもんですか?でも一階と二階みな見て、みなゐないつて言ふ老三、あんたどう思つてあの子——

外で男丙の聲 (兇暴なちつとも思慮の無い男)小母さも、旅館のボーイはさつきあの娘を見たつて言ひましたぜ、何處にも逃げちや居らんでせうよ。

外で男甲の荒々しい聲 (首領らしい口吻で)ぢやあきつとこの階に居るんだ、ゆつくり探せ。

外で女の聲 (うなづき)えゝ、逃げ出しちやゐませんよ、あの娘は。

外で數人の男の聲 騒てないで、小母さん!きつと見付かる。此處だらう、手を分けて探さう

(室內の三人は壁に寄り添つて聞く、男女の足音次第に遠のく。)

露 行つちまつた?

福 (溜息を吐き)行つちまひました、きつとあちらへ行つたのでせう。

露 (突然扉を開け)ぢや、私見てみよう。(頭を突き出さうとする、小娘が彼女の手を引きけんめいに引き戻す。)

小娘 (首を振り、哀願し)お孃樣、お孃樣!

福 (彼女を推し、扉を閉め首を振り警告するやうに)またやつて來るといけません。

露 (小娘に)心配することないわ、大丈夫だわ。(福升に向ひ)何なの、これくらゐ、まさか——

福 でもあの連中に氣取られてはいけません、あゝした連中ですよ、みすみすひどい目に遭つてはいけません

露 どうして?

福 あの連中は徒黨を組んでゐます、飛道具を持つてゐます、生命がけの商賣をしてゐるんですよ。

露 さうね、でもあの人達だつてわけを 話せ ば判るでせうよ!この子をこんなにして、まあ見て御覽なさい(小娘の臂を持上げて)煙管で敲いたのよ、血がこんなに出てるわ、若しひどい事したら私訴へてやるわ。

福 (卑しく)訴へるつて、何處にです?あの連中はみなそんな方とも連絡を取つてるんですよ、訴へたつて駄目ですよ、それによしんば裁判に勝つた所でこんどはひどい復讐に遭ひます。

露 ぢやあ——私この娘を返さねばならないの?

小娘 (恐怖の極に達し、啞に似た大聲で)いゝえ、お孃樣(淚して來る、大きな袖で拭ふ。)

福 (首を振り)こりや仲々難しいです、私はやはりこの娘を返したがいゝと思ひますよ、この子は金八爺を手の平で打つたといふんでせう、そして金八爺が怒つたんです、知つてますか?

露 金八爺つて誰なの?

小娘 (頭を上げ)あの黑い肥つた人です。

創作

土に生くる者 (一)

河利致

源吉は私の弟分であつた。一年遲く滿洲にやつて來た源吉は、こゝの地の勞働者と一緒になつて今年の夏で第七回の勞働記念日を持つた男だつた。

この間の土曜日はある仕事が一くぎりついたといふのでお隣りの昻々溪にシヤベルと生活を共にするといふ興亞勤勞奉仕隊を、私と同行、見學しにいつた源吉は、汽車賃を損にして仕舞つたと私に愚痴をこぼし、更にこれほど大きな幻滅の悲哀といふものはないと頗る絶望した。

私としては、奉仕隊の實體がどうあらうとも、大陸にやつて來て土を掘つたと云ふことは大きな收穫であり、効果だと思つてゐたんだが、彼はさう解釋しなければ、さう考へもしなかつた。土を掘る位ゐなら高い費用をかけて迄滿洲に來る必要はないぢやないか彼の言ふところのものは頭からこれであつた。そして彼は「土を掘るには掘る一つの方法があるんだ。目的の無い骨のないやり方では何萬遍シヤベルを動かしたつて効目はありやしない。」

と立腹がましく言ふのであつた。つまり源吉は、滿人と相棒となつて土を掘らなければ駄目だと言ふんだつた。

私と源吉は仕事の點に於て相異してゐたけれど、滿洲に住んでみると言ふ精神にかけてはほとんど變らなかつた。私は源吉に對し

「流された畑を、滿人と一緒に耕し、滿人と一緒に種子を播いてみることが大切だ。洗はれた家屋は、滿人と一緒に黃色な泥土を摑んで建て直すことが必要だ。それを度外視した滿洲の生活は凡て形ばかりのもので、何等の意義もありやしないよ」

と常平常、語つてゐた。源吉は「さうならなければ」といつて希望の瞳を大きく開いて喜んでゐた。

源吉は次々とこの地に足を入れてくる諸々の日本人に、相當失望してゐた。源吉の眼には只の一人として「滿人と一緒に」といつた考へを持つた日本人の姿が映らなかつた。大學の教授連中や、日本の文藝家たちや、政治家たちが滿洲の再認識だといつて渡滿してはくるが、何れも一種の流行病患者の域を脫しない、と源吉は憤つてゐた。今度こそはほんたうに滿洲を認識するであらう、かれは奉仕學生隊には大きな期待をかけて、渡滿する以前から奉仕隊にかかはる新聞記事を一字のがさず讀んでゐた。かれは青年學徒こそ滿洲を背負ふパイオニアだと心からそれを信じてゐたのであつた。

しかし源吉の期待は大外れしてしまつた。源吉はほんにがつかりしてしまつた。

「大陸の太陽をぢかに浴びてみることは結構だ。しかしそれだけのことでは何の意味もありやしない。」

彼は先づから前提してから「吾々の生活狀態より數等倍惠まれた生活に腰をかけての土掘りは、金持ちの盆栽いじりと同じことだ。寢るところはアンペラの上ではあつた。けれどもロシヤ家屋のがつちりした屋根の下で、パイ罐、桃罐、チヨコレート、キヤラメル、コーヒー、コーチヤ、ドライミルク、カルビス、ボートワインそれに猶種々雜多な文化生活品に何不足なく齧り付いてゐた。滿洲産の西瓜甜瓜などは喰べなかつた。しかし彼等のテーブルには、吾々が曾つて一度たりと味はつたことのない樣々の御馳走が山盛りされてゐた。かゝる狀態に於て土を掘り、土を搬び、土にまみれたつてそれがどれほどの効目、價値があるつて云ふのか、彼等の姿は謂はば腹の張つた子供達の土遊びにしかならぬではないか」

と息卷くのであつた。彼はかかる者達の口により、手により、頭によつて若しも滿洲が育てられるとしたら、いや滿洲の生活がつくられるとしたら、それこそ恐ろしいと、案ずるのであつた。

源吉はチチハルにおける例年の植樹に、現實の悲痛を嚙みしめた。この春も、なんでも六七萬本の樹苗が全市に亘つて植ゑられたのに、現在ではそれ等の影は、煎じて藥にするほどもない。このことだけではなかつた。一事が萬事形から形へと生活が流れて、あとに遺るやうな實のあるものは一つだつて見出されない。協和會運動は、鳴物入りで隨分矢釜ましく展開された時代があつた。しかしこの効果はどうか、ノモンハン事件に於てこそ國民大衆は、民族間の鬪爭を止め、對立を除去してみることができたにしても、協和會運動に於てはこれ等を漸く糊塗する以外に何等の効目もなかつたではないか。源吉はかかるそれ等の事態に今が今、憤激の炎を燃やしてゐたのであつた。奉仕隊の形ばかりの人眞似を、排擊するのも無理からぬことであつた。

彼は學生達の集まつてゐた所で、傾向から——上段構へで——奉仕隊の勤務作業の無益である所以を說いた。學生達には彼の腹を讀むことはできたし、それを快く理解することもできたやうであつた。しかし乍ら、今更方針を變へて遣り直すこともできないと學生のある者は意見を述べてゐた。彼は、學生それ自體を惡者にする譯でもなかつた。學生達をさうさせる指導者の罪を特に非難するのであつた。

源吉は私の宥めで今は不平を諦めてしまつたのか、再び奉仕隊のことを口にしなかつた。そして源吉は「俺達の住む社會は根本的に違つてるんだ」といつて半裸身を眞黑焦げとして次の工事場の勞働に苦力達と一緒に精をだしていつた。

新短歌……

一束の感傷

西谷正夫

くる日もくる日も
みんな同じこと
ふみつけて歩きたいこの社會機構

×

ひろびろとした空だ
なんの惱みもない青い空だ
生活にいためられたこの暗い表情

×

うれしくもないかなしくもない
肩をよせてくる少女の瞳じつとみつめる

×

なにもかもあきらめて辭職願をかいてる
つめたい秋風だ 午後のひあたり

×

いらいらしたこの生活感情いつまでつゞくか
まぶしかつた女の笑ひなど思ひだしてゐる

×

いのちかすかに生きてきた
洗つても洗つても落ちないこの生活意識
こゝろの隅にはあの子をよんでゐる

×

つかみ果てた生活意識に
あどけなく笑ひかけてくるお前だつた
安價な同情は押へねばならぬ

×

ひつそり靑く晴れた空
やうやくさゝへて來た今日までの意識もろくもくづれる
なんといふこともなく腹立てゝゐる

×

いたいたしいやつれやうだ
あまりにも淸楚すぎるお前だつたが
飢ゑきつた生活者であつたのか

爆擊機

青

捨て難い

近松秋江「こんな女もゐる」(『中央公論』九月號)

いまさら近松秋江!——そんな氣持は誰にもあるであらう。しかし、この作を讀んで見てやはり捨て難いものがあると思つた。

眼を病んで困つてゐる、そこに三十六にかなつて再婚をあせつてゐる妙な女が手傳ひにやつて來る。全く、こんな女もゐるのか!…さういひたいやうな變な女なのである。作者はそれをすつかり突つ離し客觀化して描き出してゐる。

これも一つの人間のタイプではあらう。われわれは反撥を覺えながら、しかも興味を失はないのである。それは非常に作者の手堅い筆に助けられてゐると言ふべきであらう。文學道多年の修業がさすがに物を言つてゐるのである。(御垣衛士)

書架

青

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

▽發明の滿洲(八月號)大貫正「科學界の趨勢」加藤二郎「實用厚生の理科」出原細「名人の極意と理科教育」その他(新京大同大街康德會館內、滿洲發明協會、四十錢)

▽「聖戰歌謠讀本」白鳥省吾著 日支事變以來約二ケ年間に亘り著者が各種新聞、雜誌、ラヂオ等に發表した事變歌謠、物語類を收めた四六版美裝一〇八頁、自序に『一詩人としての色んな角度からの感動の報告』とある(東京牛込區山吹町一九八、人文閣發行、定價九十錢)

▽開拓讀報(九月號)滿洲建設勤勞奉國隊の活躍を特輯として收める他、滿洲のトピツク、祖國便り其他、創作は山鄕虎雄「焰」(新京特別市豐樂路二二〇、大陸建設社發行、三十錢)

▽いんさつ(創刊號)印刷需要家のための參考誌として發刊されたもの「社會と印刷」「商業寫眞と印刷」「內外のアート紙」等の讀み物の他に天然色寫眞版其他の參考寫眞(東京小石川區久堅町一〇八、共同印刷株式會社發行)(年四回一四、七、十月)

▽滿洲歌人(九月號)鈴木濟の「北方紀行」三井實雄「向日祭」桃北好澄「近詠」一石川みなえ「驟雨」手塚忠一「夏雜詠」津田八重子「苦力」溝口實「吐息」有賀澄夫「春愁」以下第二、三部會員作品並に評、歌會報其他を盛る(哈爾濱市河溝街二八(三井方)滿洲歌話會發行、三十錢)

▽大連商工會議所經濟統計月報(二八九號)(大連市敷島町八二番地大連商工會議所發行)

▽大連商工會議所々報(三一六號)同上發行、一部十錢)

▽アカシア(九月號)高橋房男記「柿本人麿五首」角谷靜江「鐵道草の花」宮島正美「感情流の一考察」甲斐雍人「表現と鑑賞」、故巣之內ふさ作品抄並に弔辭弔歌、合評其他(大連市鳴鶴台二〇三、あかしや短歌會發行、四十錢)

▽東亞商工經濟(九月號)(大連商工會議所發行、四十錢)

▽關東州物價賃銀調査月報(五月分)(關東局)

國都醫院案內

本欄一手取扱　滿洲國通信社

一般外科・內臟外科・痔疾性病
大森医院
新京永樂町二丁目　電話③四七四三番

內外科・花柳病・皮膚科
浜田医院
新京三笠町一ノ一六　電話③二八七三番

內外科・眼・皮膚・性病科
中野医院
興安大路五〇二　電話②一七〇一番

上山醫院
外科性病
入院隨意　病院日通廿一番地　電話②五七九五番

皮膚・性病・外科　專門
長岡医院
光輝路二〇四　電話②三九五八番

內臟外科・整形外科
吉利外科
中央通り四六　電話③三三四九番

內外科・レントゲン・產婦人科　病室完備
順天医院
院長　醫學博士　小橋戊穗
新京驛前　電話③三八九〇

產婦人・花柳病・內科　產室病室完備
中市医院
新京東門前　電話③三九〇二番

內科・性病・產婦人科　入院隨意
畑医院
新京新發路　電話②一三二〇番

內科・小兒科　醫學士　住吉勝也　入院隨意
緣医院
長春大街三一二號　電話②五一〇〇番

內科・小兒科・外科・性病科・X線科・物療科・產婦人科
醫博　吉田秀雄
興安病院
興安大路興安街角　電話代表②五九一一番

內科・小兒科
折島医院
新京通化路二〇二ノ九　電話②二二二九番

小兒科・內科・花柳病科　病室完備
槙医院
興安大路二一五　電話②一五八〇番

內外科・小兒科・レントゲン物療科性病・耳鼻・咽喉・齒科・婦人科皮膚泌尿科・各科專門
院長醫博　深町穗積
深町医院
新京朝日通　電話③六六六八番

產婦人科・外科・性病
醫博　沖津亘
沖津医院
新京室町二ノ二二　電話③五六八九番

內科・小兒科（專門）　往診隨意
杏林堂医院
吉野町一ノ二二　電話③二五二〇番

產婦人科・花柳病科　入院往診隨意
內科・小兒科　院長　肥後弘子
肥後医院
メイヤ街老松町朝日通　電話③五七〇九番

內科・小兒科・泌尿生殖器病・肛門病科・皮膚病科　入院隨意　往診應需
松本医院
日本橋郵便局前　電話③三七五六番

產科・婦人科　醫博　鈴木紀　病室完備　入院隨時
鈴木病院
新京清和街七〇二　電話③一八八七番

產科・婦人科　女醫　田島靜子
田島医院
新京興安大路四九　電話②二六〇七番

產婦人科・婦人內科・花柳病科　女醫　柴田すぎ
康德医院
吉野町四丁目廿一　電話③五三九七番

呼吸器・胃腸病・レントゲン科　入院隨意
三谷医院
新京崇智路六一〇八　電話②四八六九番

皮膚科・性病科・泌尿科　醫博　市橋貞之
同仁医院
新京富士町二丁目　電話③二六〇六番

紫外線・レントゲン設備
早川齒科
新京錦町二丁目七　電話③三二九六番

佐野齒科
日本橋通り新京ビル　電話③二三六五

林齒科
院長　林久仁惠　崇智胡同一ノ一〇

山崎齒科
第一醫院　公園前　電話③五八〇三番
第二醫院　大同大街海上ビル二階　電話②三七五〇番

產科・婦人科　產婆派遣　入院隨意
堀山医院
新京蓬萊町一ノ一五　電話③三二八〇番

花柳病・肛門病科　專門
豐楽堂医院
豐樂路公設市場入口　電話②三二九七番

小兒科專門　入院隨意
太田医院
新京神社南橫　電話③三八二九番

浅井醫院
小兒科
入院隨意　新京崇智路六一六　電話②一六〇五番

小兒科　專門　レントゲン科　入院隨意
古野医院
新京神社南角　電話③五二四三番

長春醫院
小兒科
院長　德丸スガ　入院隨意　往診應需
新京神武ノ一　電話②六二四一番

醫學士　知識古彥　入院隨意
知識眼科
新京大和通り　電話②六六四六番

齒科七診部
堀田医院
朝日通り二二　院長　堀田文明　電話三一五八一九番

內科
伊藤医院
院長　伊藤律　電話二一三八三二番

眼科
中山医院
新京錦町二丁目七　電呼出3三二九六

ヤナギ齒科
中央通郵政局前

羽牟眼科
新京祝町三ノ三　院長　羽牟武志　電話三一四二五五番

亀川齒科
新京祝町二丁目　電話③三八五八番

市村齒科
新京吉野町一丁目　銀座キネマ隣

山口齒科医院
院長　山口綾乃　新京豐樂路飯店前

質流レ
洋服
色々
新京祝甲三ノ三
三浦屋質店內
電③三七五番

民事商事刑事訴訟
法律顧問及鑑定
會社組合設立手續
特許商標出願審判
原　法律特許事務所
新京事務所　新京錦町三ノ二四　電話3四七番
奉天事務所　奉天浪速通廿八番地ミヤコビル　電話3一三一六番
滿洲國辯護士協會理事・日本辯護士協會理事・陸軍大臣指定軍法會議辯護士　律師　辨理士　勳四等　**原惣兵衛**
律師　法學士　**小松久雄**
律師　法學士　**田崎昌亮**
陸軍大臣指定軍法會議辯護士

畑医院
內科性病科產婦人科
豐樂路モンテカルロ隣　電三一三二〇

取扱品目
各國羅紗洋服附屬品一式
東亞ペイント諸建築材料
日滿商事石炭指定販賣店
加藤洋行新京支店
新京日本橋通
電話　石炭部3二〇三二・五三八八　羅紗建築材料部3三七三一

事變公債
高價買入
裕民彩票販賣
商品券の賣買も致します
泰正號
新京祝町三丁目（南廣場興銀橫）
電話③二六四四番
精々御利用下さい

冬の御仕度は是非當店で
▲變織白生地
▲銘仙小紋
▲西陣御召
▲名古屋帶……品揃
吉野町
村岡呉服店

PHOTO STUDIO
高級寫眞
新京吉野町
乾寫眞館
電③三〇二五

用挽手及鋸切金產國純用機械
日富滿士號
耐力絕大　品質優秀
大阪市西區立賣堀北通四丁目（電停前）
元賣發　**社會名合具工械機木八**
電話新町(53)四〇六二　振替大阪三九二四九番

○廣告の御用命は……
電話三一三三〇〇番へ○

パーマネント
優秀な技術者を招聘しました
少しもお待たせせず致します
御婚禮仕度
貸カツラ・衣裳
赤外線美顏術
りダイヤ街通
老松ビル二階
老松美粧院
電③六三四九番

舌頭は躍る
味覺の花園（パラダイス）！
味のデパート
辨當・壽司の折詰　大量御注文に應ず
壽司　支那料理　和食　洋食　喫茶　菓子
味不二
新京東二条通（銀座新道角）
電話③二四二二番
味不二・ミフジ

本店　新京大同大街
市內　南廣場支店　電話代表3三六一六番
　　　大馬路出張所　電話代表2六五二〇番
滿洲興業銀行
代表電話②四五一一番
營業種目
其他一般銀行業務
（公債・證券・預金・貸付・手形割引・爲替等）
支店、出張所所在地
范家屯、公主嶺、四平街、西安、通遼、開原、鐵嶺、新站子、奉天、遼陽、鞍山、海城、蓋平、營口、阜新、錦州、赤峰、承德、本溪湖、安東、撫順、山城鎭、朝陽鎭、通化、吉林、哈爾濱、齊々哈爾、海拉爾、熱河、京山、綏化、海倫、白城子、龍井、圖們、牡丹江、佳木斯、大連、旅順、金州、營口、鶏子窩

ノモンハン事件展覽會開く

外蒙ソ聯軍の暴戾行爲によつて惹起された今次ノモンハン事件における日滿兩軍赫々たる戰果を示す戰利品展覽會は、九日午前九時から北安路天理教傳道廳內廣場に於て華々しく開始される【寫眞は準備全く成つた會場】

低溫生活を勵行し 使用期間を短縮化

首聯幹事會で 石炭問題對策決定

康德六年度首都聯合協議案事後處理第三部幹事會は首都本部第一會議室で八日午後一時三十分から首都に於ける石炭問題に關して協議會を開催した

幹事長代理大原首都本部委員、村川市公署衛生處長、坂本市公署庶務科長、產業部燃料科事務官、牧野首都警察廳工場建築科長、磯野日滿商事新京支店長、堀日滿商事宣傳主任、河瀨國立大學工鑛技術院教授、山田營繕需品局管理科長、高瀨滿炭技師、鳥澤滿洲興業銀行分會、津川滿洲鑛發社分會、寺中日橋富士分會長、岩崎山間韓家屯分會長、相原首都衛生技術廠分會、首都本部總務科長出席

特に戰時體制下に於ける石炭需要の激增に對處するため官民一體なつて燃料國策の線に沿ひ石炭の消費節約の徹底を圖ると共に其の配給を圓滑ならしめるべく四時間餘に亘つて目前に控へた冬に對する緊急問題として愼重な建議討論が行はれた結果石炭消費節約に關する方策として

冬季石炭使用期間の短縮が最も必要である、すなはち燃燒期間は年々に依つて石炭使用期を出來るだけ遲く行ひ、先づ大體に於て十一月初旬頃から翌年三月一杯迄實施すれば約一ヶ月の煖房用石炭使用量を節約し得ることになるので特殊なるものを除いては此の方法に依つて行ふ、低溫生活は衞生的にも經濟的にも絕對必要であり煖房低溫生活の提唱とこれが勵行による方法として

一、燃燒開始後にあつても必要以上の採暖を要求せぬばかりでなく出來る限り低溫生活の習慣を養ふ樣に善導する

二、集中煖房の火夫、家庭の主婦等に對して合理的燃燒方法を習熟せしめるために講習會、展覽會等を開催する事

三、新聞、ラヂオ、リーフレット、映畫等を利用して節約に關する宣傳を徹底的に實施する事

四、煖房設備の改善を實施せしめる事

五、市公署では燃料相談所を例年の通り設けて一般市民の利便に供するべく計畫を進めてゐる

六、煙突、ボイラーの掃除を實施せしめる

石炭配給の合理化に關して

一、日滿商事の直營配給網を完備擴充して九月二日から實施されつゝある石炭販賣組合によつて各家庭に向け配給することになるので從前に比べ迅速且つ公平化される

二、首都にある貯炭場を增設する事

三、石炭運搬馬車を增加して少量石炭運搬の圓滑を圖る事

四、貯炭場より家庭に運搬する馬車賃を遠近を問はず漸次一律にする事

五、優先配給を廢して一般民の苦惱を除却し民族的反感或は不平の絕無を期する事等

實施方法に就いては關係機關と協力して首都本部で具體案を練り時局に對處する爲め消費節約運動を市民運動に轉化せしめることになり同六時十分散會した

家庭の生活に重點

十五日から全滿一齊に 精神作興週間

協和會中央本部では現下の世界情勢に鑑み、益々國民精神を振起して興亞の大業達成に邁進しようと、九月十五日より向ふ一週間全滿一齊に國民精神作興週間を實施することゝなつた、而して週間中は特に各人の家庭生活における修養に重點を置き、早朝起床 禊祓（心身の淸淨）、住居內外の淸掃、皇居、帝宮遙拜 祖先禮拜 一汁一菜を每日實施し、更に適宜な組織によつて神社、忠靈塔參拜、慰靈祭、軍警並に遺家族慰問、勤勞奉仕 體育運動等を實施する事になつてゐるが、更に中央本部ではラジオ放送による修養講話、戰利品展覽會、寫眞展等を開催するほか、カフエー、料理店其の他娯樂場の自肅並に閉店時間繰り上げ等に關しては業者と座談會を催して之が慫慂に乘り出すことになつてゐる

公會堂復興に 保險會社の好意

契約金支拂に好條件

燒失した記念公會堂の保險金は三井保險部及び滿洲火災海上保險會社、各十二萬圓宛合計二十四萬圓が附してあり之に對し食堂及び外壁の一部が燒殘つてゐるので果して保險會社が幾何を支拂ふかは公會堂が純然たる公共建物であり而も其の保險額が現在の物價よりすれば約半額に過ぎない小額であるだけに一般の注目の的となつてゐたが、兩保險會社は非常な同情的態度を以て之が解決に當り公會堂復興を援助する意思の下に極めて僅少な割引で殆ど保險金の全額に近い金額を支拂ふことに決定し其の旨正式に公會堂に通知して來た、兩社のこの好意的解決に對し理事會は非常に滿足し且感謝してゐる

古義眞言宗管長 高岡隆心猊下來京

祝町高野山金剛寺で法要

市內祝町高野山金剛寺では滿洲國皇帝陛下に觀見、駐滿全權大使に挨拶のため來京する古義眞言宗管長總本山金剛峰寺座主高岡隆心猊下を迎へ日滿將兵武運長久祈願並に日滿戰歿者英靈慰靈法要を勤修する、その順序は

一、高岡管長隨員一行は九月午前十一時四十二分着〃のぞみ〃で來京

一、十日は法要奉修日滿將兵武運長久祈願祭並日滿戰死者英靈慰靈法要勤修は大導師に大僧正高岡管長猊下、本山關係十五名、全滿開教師二十餘名參列、午後一時より、高岡管長猊下親教及法話、授戒、結緣の儀式もあり、午後三時より、高岡管長猊下以下全員信者一同新京忠靈塔參拜慰靈法要終つて一同解散、十一日は滯京、帝宮參入、大使訪問

因に一行の歡迎會を九日午後六時半より日滿軍人會館で開催する出席希望者は高野山電話(3)三〇四九歡迎係へ

滿軍協力者に感狀

西卷・森兩氏

滿洲國軍の駐屯〇〇隊及び安東駐屯〇〇隊は去る十九日防衛令下令以來、駐屯地の警備陣を強化してゐるが、西卷豊之助（奉天）並に森久人（安東）の兩氏は共に國軍に協力して警備地強化工事の進捗に功勞があつたゝめ、于治安部大臣はその奇篤な行爲に感激八日兩氏に對して感謝狀を贈つた

寫眞機を忘れる

七日午後六時三十分頃政府第五代用官舍荒井吉夫さんはニツケ前から客馬車に乘り祝町一丁目で降りたが、持つてゐた寫眞機一個時價五百圓を馬車の上に置き忘れたので中央通署に屆け出た

土に汗を流せ

開拓青少年隊員の育ての親 加藤完治氏がラヂオで激勵

滿洲開拓の第一部隊である滿洲開拓青少年義勇隊は入植第二年の冬を前に目下全滿各地に孜々として開拓の鍬を揮つてゐるが、これら隊員の育ての親とも云ふべき內原訓練所長加藤完治氏が目下新京に開催中の日滿農政研究會に出席のため來滿中なので、協和會中央本部實踐科ではこれを機會に同氏を煩はし十日午前十一時十分より三十分間ラヂオを通じて隊員へ激勵の言葉を贈ることゝなつた、放送內容は左の如し

義勇隊の任務は原住民と手を携へて農民魂を陶冶しつゝ滿洲建國の聖業に一身を捧げることで、これは書物や筆の先でやれるものではなく廣く深い經驗が土臺となつて生れて來る、農民にとつてはこの經驗を重んずると云ふことが最も大切で自己の經驗のみならず他人のそれも採り入れねばならぬ、從つて滿、鮮、漢、蒙、白露の各民族が永年の生活から得た經驗や知識や技術を交換することが必要となつて來る、かくて人と人との心が自然に結合し合つて言はず語らずの中に民族協和が實現されて行く、少年よ諸君は純情である、この純情のみが最も自然に而も素直に開拓の大業を助けるのだ、從つて農事訓練を大本に農民魂の陶冶を眼目とし、農を天職と心得、心の底からその氣分になつて土に汗を流し土を樂しまねばならぬ、更に諸君は國防上にも大なる責務を持つてゐる、軍事教練をやる所以もここにあるわけで命令服從の明かな秩序を重んずる精神訓練が眼目である、從つて幹部の命令は如何なる場合も嚴然と守られねばならぬ同僚仲よく迷はず、綱領に示された目標に向つて邁進されたい

防犯映畫と講演會

長通路署では七日午後七時より同署裏庭で「第一回防犯宣傳講演と映畫の夕」を谷口司法科長、萬署長等幹部出席の下に開催した、定刻前會場裏庭に千八百名に上る觀衆がどつと押し寄せ立錐の餘地なきまでに埋めつくし、谷口科長、萬署長等の防犯とはどんなものか、どうすれば好果が擧るのかと解りやすい講演に一同熱心に耳を傾け深く感銘してゐた、次で映畫、時局ニュースを觀賞して同十時頃散會した

出でよ！兒童合唱團

滿洲初めての唱歌コンクール

愈よ來月廿九日開催

在滿日本教育會主催電々會社後援の第一回全滿兒童唱歌コンクールは全滿初めての催しでもあり、その優勝校は全日本唱歌コンクールに出場權を與へられるといふので各方面から非常な期待をかけられてゐるが主催側で色々準備を進めた結果、愈々十月廿九日開催することに決定した、實施要項の通り

一、參加學年は尋常科第五學年男兒及び女兒とし、人員は各十五名

一、種目は齊唱、曲目は課題曲風卷景次郎作下總皖一作曲文部省檢定濟「日本の秋」

一、隨意曲文部省檢定又は認可を經たる尋常科五年程度の單音唱歌で二分以內に歌ひ終るもの

一、申込期日九月卅一日、地方豫選會、十月十五日迄に施行の上日本教育會に報告

一、コンクールは十月廿九日開催、各放送局より第一豫選に通過した各校を放送して新京中央放送局で中繼の上審査する

一、表彰優勝校には全日本コンクール（十一月五日）に全滿代表として參加權を與へ、錄音して記念する、若干校を入選校とする

全滿警務廳長會議終る

全滿警務廳長會議二日目八日は前日に引續き各警務廳長のほか中央より星野總務長官、于治安部大臣、薄田同次長、植田警務司長以下各關係科長其の他司法部檢察廳各關係官出席の上午前八時から治安部會議室に開催、午前中懇談を行つた後出席者一同は正午より總理官邸に催された星野長官の招待午餐會に臨み、午後二時よりは各科打合會に出席の上同七時すぎ今年度會議を閉ぢた

日滿支空の旅はオール國產機で

そよかぜ級五機近く就航

【東京國通】日滿支の航空交通が愈々繁劇となり使用飛行機が大量に必要となつたので大日本航空會社では航空局と協議の結果純國產の優秀旅客機をどしどし製作して日滿支の空を國產機でうづめる大方針を決定、先づ最近竣工したそよかぜ級五機を近日中に就航せしめることゝなつた、一方ダグラスD・C二型以上の客席とスピードを有する國產ダグラスとも云ふべき優秀機を製作すべくすでに三菱重工業に發註、十月中旬にはその一機が出來年內に五機が製作される豫定でそよかぜ級五機と合せて十機の優秀が定期航空に華々しく就航することになつた

廣澤虎造師來る

八日午後一時三十分着列車で哈爾濱から來京した浪界の巨星廣澤虎造師は直ちに新京神社に參拜の上、旅舍に入つた今九日は滿映野球チームと虎造チームと兒玉公園グラウンドで野球試合を行ひ、終つて帝都キネマで口演【寫眞は新京神社參拜】

大村滿鐵總裁

滯奉中の大村滿鐵總裁は豫定を變更して八日午後九時卅五分新京驛着ひかりで來京した

何んのための傷病兵送迎？

朝日分會に非難の聲

銃後の固めに諸行事の奉仕に大童の活動を續けてゐる國婦各分會員の白いエプロン姿は見るものをして感激せしめてゐるが、最近新京驛頭の傷病兵送迎に際し何のためにわざ〳〵分會旗を押し立てゝ來てゐるのか？と驛員、警護隊、これを目擊の列車乘降客等を慨歎せしめ非難の聲を浴びてゐる分會がある

即ち六日第一線に奮鬪中不幸敵彈のために片足、片腕等々を御國に捧げて無念の淚を呑んで治療に歸還した傷病兵の出迎へに當つたネオン街に働く女給さんばかりの朝日分會員が、傷病兵〇〇名到着とゝもに湯茶の接待はおろか不自由な片足片腕で步行する有樣をみながら、たゞ己の前を通る時にのみ「御苦勞樣」と云ふまことにお義理一遍な出迎へに止まり汗みどろとなつて傷病兵に肩を貸し、又は背負つて病院自動車まで連れて行く驛員、警護隊員、旅行者からいたく反感を買つてゐる、これは單に一例に過ぎず、今迄も再三に亘つて同分會員らの送迎時には華美を競ふ衣裳に、態度に言語に不愉快極るものもあり、斯くは第一線に活躍して歸つた傷病兵にどんな印象を與へるかは測り知れずとし、この分會に對する精神的教養の必要さが叫ばれてゐる

寄宿舍に時計泥棒

四日午前十一時より七日午後八時三十分までの間新京商業學校寄宿舍三階八室號福田弘人君（一九）からスイス製腕時計一個（三十五圓）、二階六號室小林一夫君（一八）からスイス製腕時計一個（三十圓）同五號室北寛君（一七）から腕時計一個（十五圓）が何れも授業中何者かのために竊取されてゐるのに氣づき八日中央通署に屆け出た

協和會で物價對策綜合研究會

協和會中央本部では現時局下に於ける國民生活必需品の價格騰貴の抑制及び物資配給の圓滑化に就いて國家の根本對策の綜合研究會を十一日午後二時第一會議室で各部代表委員出席の上で開催する事になつた

新京倶樂部勝つ 對錦縣野球戰

新京倶樂部對錦縣野球戰は八日午後四時卅五分より兒玉公園球場において萩原（球）近藤、山本、花滿（壘）四氏審判の下に錦縣先攻で擧行されたが、兩軍投手の不調に試合は凡戰となつて興味なく結局三對一で新京が勝つた

錦縣 001000000―1
新京 10002000A―3

廣澤虎造師挨拶に來社　八九の兩夜帝都キネマで口演する浪界の巨星廣澤虎造師は八日入京挨拶に來社した

首都本部の野本君が椅子に收まつてムッツリとしてゐる格好は何う見ても田舍の兄ちやんと云ふ所だ▼ところが、あれで仲々の百方美人と來てゐる、其の中で特に音樂方面にかけては絕對に人には讓らない…▼大連にゐた時なんぞは協和會館で切符を賣つたり又受付をしたり…だそうな▼飲ませれば何程でも飲むと云ふ…自分でも酒量の程がわからないくらゐの御酒をすつかり止めてしまつた迄は良かつたが最近になつて胃が痛いやら肩が凝るやら腰が痛いやらで大弱りである▼で或る人に聞けば其の妙藥には一番御酒が好いだらう―に誤つてゐる虫を起すでない！

母ミオ儀病氣加療中の處昨八日午後六時死去仕候間此段御通知に代へ謹告仕候
追而告別式は九月十日午後五時祝町西本願寺に於て執行仕可候
昭和十四年九月九日
男　陣ノ內恒治
同　陣ノ內實
同　陣ノ內六郎
親戚總代　牛島勇一
東朝陽路町會代表　國廣亮式
佐賀縣人會々長　佐藤宇治太郎

女人果（じよにんくわ）

小栗虫太郎作　中島喜美畫

狗と猫（1）（百四十一）

『ふうむ、よく書いたものだ。』

伸子の手記を、埋めてゐる細字が眼をはなれたとき、二等運轉士の、西塔靖吉はホウッと吐息をついた。

それは、長時間續み續けた疲勞もあることながら、よくまあ、これまで書いたといふ驚きの方が多かつた。

彼は、しばらく眼を休めるやうに、ぢつと瞑つてゐた。

明けかゝつてゐる。

波の音遠い化粧所での洗ひ水の音――。それにディゼルの正確なリズムがするだけだ

しかし、伸子の夜は永遠に明けぬかもしれぬ。

靖吉はさう思ふと、急に溜らなくなり、受話器をとりあげ、病室へと云つた。

『あのう、病室で御座いますか』交換手が、氣の毒さうに云つた。

『唯今、お話し中なんですけど……』

『誰だね。』

『お孃さまの……弓子さまと、もう一人の、御一緒にゐらつしやる大兒さんといふ方です。』

『ふむ、大兒が？』

と、噛み切るやうにいつたが、ちよつと暫くのあひだ靖吉の聲はなかつた。

なにやら、眞片手にぢつと壁を見つめてゐる。

と、唇がゆるぎ出し、悪戯つぽい笑が泛んできた。

『ねえ君、』

『ハア、』

『ねえ、いゝから、その電話にちよつと繋いでくれないか、いや、決して、此方は口を利かんし、聽いてゐるだけなんだから……』

『サア、』

と、交換手の聲は、あきらかに躊いでゐる。

『そんなこと、私、許されて居りませんもの、知れたら、あとで飛んだことになりますわ』

『構はんよ、責任は、全部僕が引きうける、して呉れ給へ

別に、悪い意味でなけりや構はんだらうが』

しかし、良いにも悪いにもこれは盗聽である。

船客同士の電話を、幹部である高級船員が盗み聽きする……。

もちろん、公德を害すること、甚だしいと云はなければならない。

けれども、それ以外に、弓子と大兒とがいかに伸子に對してゐるか、心中の秘をさぐり知る方法とてない。

いはば、これが絶好の機會である。

さうして、それから始め、伸子の悲運を軌道に戻す傍ら正義の曙光が、これまで逆しまだつた明暗を逆轉させ、飽くまで、良きものには、榮えをもたらされねばならぬと、考へたのである。

（やらう！）

靖吉はいま、手記に感じた憐憫と憤りとを、一つは伸子に、一つは、自分の雇傭主である十八郎に投げ、理非曲直を、明らかにする人倫の大道を、正義の炬火を手に雄々しくも進まうとしてゐる。

もう彼には、燃え立つ正義感のほかには、何物もなくなつてゐる。

躊躇もない。

自分の、これから先の生活がたとへどうならうと、そんなことには毫末の頓着もない。

雇はれるものゝ、卑屈や怯懦をふり捨てゝ、まつしぐらに行かう。

そして遂に、押問答の結果交換手に承知させてしまつた

やがて、チヂッ音がすると、プラグが差し込まれ、弓子と大兒の會話が、靖吉の耳に流れ込んできた。